



# 九州大学附属図書館付設記録資料館所蔵資料目録

太宰府市公文書館

**文書群名** 九州大学附属図書館付設記録資料館所蔵資料

**年 代** 中世～近代

**数 量** 1277 点

**収蔵形態** 複写資料

**内 容** 九州大学附属図書館付設記録資料館が所蔵する史料のうち、太宰府に関係する史料を集めたもの。史料番号は記録資料館における整理時のものである。「三奈木黒田家文書」、「古野家文書」、「桧垣文庫」「福岡県地価帳」「写本類」がある。

#### 関連文献

「三奈木黒田家文書」『九州文化史研究所所蔵古文書目録 十八』九州大学文学部附属九州文化史研究施設、1994 年

「古野家文書」『九州文化史研究所所蔵古文書目録 十五』九州大学文学部附属九州文化史研究施設、1985 年

『桧垣文庫目録 近世筑前国編』九州大学附属図書館六本松分館、1996 年

『桧垣文庫目録 近代福岡縣編』九州大学附属図書館六本松分館、1996 年

『桧垣文庫目録 中世編 近世豊前国・筑後国編』九州大学附属図書館六本松分館、1996 年

『桧垣文庫目録 和装本編』九州大学附属図書館六本松分館、1996 年

「福岡県地価帳（二）」『九州文化史研究所所蔵古文書目録 十四』九州大学文学部附属九州文化史研究施設、1982 年

「写本類目録」『九州文化史研究所所蔵古文書目録 三』九州大学九州文化史研究所、1958 年

**閲覧条件** なし

**複写条件** なし

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1	国君御代々之御書				(1-1~16有)	卷子		
三奈木黒田家文書 1-1	書状	(江戸期)3月3日	光之(花押)	黒田三左衛門・小河右衛門・大音六左衛門	其元吊之儀、其元用所之儀伊賀殿差図請可申、当地之儀讃岐殿差図被成候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-2	書状	(江戸期)10月29日	光之(花押)	黒田三左衛門	朝鮮信使帰帆之節藍嶋立寄候處馳走無異儀被申付致出帆註進相達候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-3	書状	(江戸期)2月28日	光之(花押)	黒田三左衛門	就御即位禁裏江名代之使者其方可差越候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-4	書状	(江戸期)	光之(花押)	黒田三左衛門・鎌田九郎兵衛・浦上彦兵衛	肥前守御暇今日発足太悦、御代替之時節諸事入念可被申付候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-5	書状	(江戸期)3月24日	光之(花押)	黒田源左衛門	甲斐守気分悪敷、其方早々出船候而可罷上	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-6	書状	(江戸期)正月3日	光之(花押)	黒田三左衛門	為年始太刀馬代到来令祝着候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-7	書状	(江戸期)季夏の有二	筑前綱之(花押)	黒田源左衛門	内々の儀平左衛門外三人を以被仰越大慶存候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-8	書状	(江戸期)6月28日	筑前綱之(花押)	黒田源左衛門	地方目録被下候為祝儀肴一種到来	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-9	書状	(江戸期)壬5月6日	肥前綱政(花押)	黒田三左衛門・黒田平左衛門	六郎太夫不勝手に有之、江戸勤の件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 1-10	書状	(江戸期)7月27日	肥前綱政(花押)	黒田三左衛門	六郎太夫儀首尾能相済別而取持故と存候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-11	書状	(延宝5年)閏12月26日	肥前守綱政(花押)	黒田三左衛門	分知領今度被返遣候為祝儀樽肴到来令満足候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-12	書状	(江戸期)11月15日	肥前守綱政(花押)	黒田三左衛門	息三太郎事黒田の名字御免為祝儀兩種到来令満足候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-13	書状	(江戸期)正月15日	肥前守綱政(花押)	黒田三左衛門	為歳暮年頭之祝儀樽肴等到来満足候	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1-14	書状	(江戸期)正月3日	肥前守綱政(花押)	黒田三左衛門	為年頭之嘉儀太刀馬代到来令満足候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-15	書状	(江戸期)9月2日	大隈吉之(花押)	黒田三左衛門	我等縁組之為祝儀樽肴到来令満足候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 1-16	書状	(江戸期)9月5日	守 弁之助政則(花押)	黒田三左衛門	大隈守様御縁組為祝儀肴一種遂給令満足候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 2	條々	慶長6年卯月6日	長政(花押)	黒田惣右衛門外	一従他国使者於相越者、一隣国諸大名書状於被差越者、一知行方算用の由外	卷子	1	
三奈木黒田家文書 3	先祖以来從諸方来翰					卷子(袋入)		3-1~3-12まであり
三奈木黒田家文書 3-1	書状	(江戸期)3月20日	黒 甲斐守(花押)	睡鷗	天守台普請之刻借用銀返済の件、忠之御立之儀相延候件外(秋月藩)	折紙	2	
三奈木黒田家文書 3-2	書状	(江戸期)7月12日	黒 甲斐守長興(花押)	黒田睡鷗老	下着祝(秋月藩)	折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-3	書状	(江戸期)2月14日	黒 市正高政(花押)	黒 美作	貴殿手前之儀具申達候、忠之公合点参候(直方藩)	折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-4	書状	(江戸期)11月22日	黒 甲斐守高政(花押)	黒田美作	堀平右衛門事(秋月藩)	折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-5	書状	(江戸期)正月22日	大音六左衛門・郡正太夫	黒田美作	隠居屋敷替の事、大膳女房衆・大膳むすめの処遇に付	一紙	1	
三奈木黒田家文書 3-6	書状	(江戸期)3月2日	直(花押)		大膳殿江参候て御差物之儀御物かたり申候、別儀なき仰せらる	一紙	1	
三奈木黒田家文書 3-7	書状	寛永4年3月1日	栗山備後入道卜庵(花押)	黒田三左衛門	差物所望候間讓進之候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-8	書状	(江戸期)南呂(7月)22日	一成		明晩懸御目可申承候	一紙	1	
三奈木黒田家文書 3-9	書状	(江戸期)11月朔日	黒 三左衛門	黒 又左・吉 六郎太	大村領きりしたんのせんさくやみ申候と聞候、なべ嶋志摩守いまた長崎町ニ逗留	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 3-10	書状	(江戸期)正月22日	黒田甲斐長政(花押)	安国□		折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-11	書状	6月17日	松平右馬佐忠政(花押)	長政	福嶋左衛門太夫殿御事無別条相済申候、従国本米積廻り候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 3-12	書状	(江戸期)2月27日	松平右衛門佐光之(花押)	忠之	花入・徳利讃岐殿へ進物の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4	一貫公御筆 一軸	(江戸期)5月19日			三左衛門覚書、鍋嶋十左衛門境目之儀熟談仕候様にと丹後守様御内意之由	卷子(袋入)	1	
三奈木黒田家文書 6	國君御代々賜先祖以来御書				(6-1~32有)	卷子(袋入)		
三奈木黒田家文書 6-1	書状	(江戸期)卯月20日	如水(花押)	黒田三左衛門	素麵の礼、甲斐守上洛次第下国候間	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-2	書状	(江戸期)極月16日	如水(花押)	黒田三左衛門	鮎等の礼、咳気快氣候而帰宅候可心安候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-3	書状	(江戸期)7月17日	如水(花押)	黒田三左衛門	百石に付三石貸、米は銘之浜にて大豆は下座に而可相渡	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-4	書状	(江戸期)8月12日	如水(花押)	栗 四郎右衛門外	天守之石垣今日ヨリ可被申付候外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-5	書状	(江戸期)6月27日	黒田甲斐守(花押)	黒田三左衛門	ながくら材木の儀	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-6	書状	(江戸期)	甲斐	黒 三左衛門	それへ参候よし尤候	一紙	1	
三奈木黒田家文書 6-7	書状	(江戸期)正月2日	黒 甲(花押)	後 又兵衛・黒 左衛門	与介事てっぽうの者つれ候てのぼりの事	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-8	書状	(江戸期)3月25日	甲斐守長政(花押)	後藤又兵衛・黒田三左衛門	左太殿ヨリ注文の件、豊前へ大豆有次第上せ候へと申件	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-9	書状	(江戸期)8月23日	長政	黒田惣右衛門外	天守南の方つきさしの石垣つき可申候	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 6-10	書状	(江戸期)正月22日	甲斐守長政(花押)	黒田三左衛門	此方へ上候番之者とも我々江戸ヨリ戻候時分ニ上候へ	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-11	書状	(江戸期)卯月8日	甲 長政(花押)	黒田三左衛門	夜前林右近屋敷火事出来、飛脚さし越尤ニ候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-12	書状	(江戸期)2月15日	長政(黒印)	黒田三左衛門	天守を此月中に柱立可仕候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-13	書状	(江戸期)5月23日	黒 甲斐守長政(花押)	黒田三左衛門	次左衛門事いまだ此地へ不罷着候、不信ニ存候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-14	書状	(江戸期)正月2日	甲(花押長政)	三左衛門	武者ふりに入申候道具取そろへ可被越候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-15	書状	(江戸期)正月8日	長政(花押)	毛利但馬守外	今度之御普請五日十日遅出来候共念を入申候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-16	[申触]	(江戸期)10月2日	長政(黒印)	井上九郎右衛門外	与三兵衛屋敷地形普請の儀無油断可申付候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-17	書状	(江戸期)8月11日	(長政花押)	三左衛門	小者壺人ツゝニ而上可申候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-18	書状	(江戸期)12月2日	長政(花押)	黒 清兵衛尉	出船延引、就其船頭与左衛門妻子籠舎	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-19	書状	(江戸期)7月15日	長政(花押)	黒(田)清兵衛	豊後にて女房どもへ被下候知行之儀、小者共に預ケ置候くろの唐犬の事	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-20	書状	(江戸期)1日	(忠之花押)	黒田美作	安部四郎五の事、世上ニても家中あしきまえやうに申廻り候事	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-21	書状	(江戸期)5月25日	忠之(花押)	小河内蔵允・黒田美作	春甫のかけ物并丸壺之茶入其方ニ返可申候、岩崎平兵衛ふちをはなし可申候外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-22	書状	(江戸期)5月25日	忠之	美作・内蔵丞	岩崎平兵衛儀いとまを遣可申候也	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-23	書状	(江戸期)3月7日	忠之(花押)	小河内蔵丞・黒田美作	勘解由召遣候者不届次第有之	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 6-24	書状	(寛永9年)8月10日	忠之(花押)	黒田美作外	御上使衆当国御通二候、道柏等肥後へ遣、大膳不届次第ハ其筋不申浮付候間	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-25	書状	(江戸期)5月23日	忠之(花押)	黒田美作守・小河内蔵允	喜多村安右衛門跡目知行之儀、小堀久左衛門所ヨリ国中百姓共迷惑仕の由皆々所へ申越候外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-26	書状	(江戸期)6月朔日	忠之(花押)	黒田美作守・小河内蔵允	大蔵源右衛門合力の儀、四つ成之知行五百石の物成納升式百石大坂にて可遣候外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-27	書状	(江戸期)8月14日	忠之	黒田美作・小河内蔵允	其元城廻屏矢蔵などそこね申候由普請の事、当年国中世間能候哉外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-28	覚	(江戸期)午ノ3月16日	忠之(花押)	黒田美作・小河内蔵允	宮崎藤右衛門知行所ニ豊前ヨリ之走り者有之由外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-29	覚	(江戸期)午ノ7月11日	忠之(花押)	黒田美作守外	美作事隠居申付、川勝平左衛門借銀不残取立可申候、賀麻・穂波郡奉行の事外	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 6-30	書状	(江戸期)7月3日	忠之	睡鷗	万事国中之儀平右衛門・三郎兵衛へ申付候様	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-31	書状	(江戸期)7月4日	忠之(花押)	黒田睡鷗	見廻の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 6-32	公事聞ノ覚	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 7	代々賜御判物一軸	(江戸期)			(7-1~20有)	卷子(袋入)	1	
三奈木黒田家文書 7-1	[知行行状]	慶長7年12月23日	長政(黒印)	黒田三左衛門尉		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-2	知行目録	慶長17年正月27日	長政(朱印)	黒田美作守		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-3	代官目録	慶長13年2月29日	長政(黒印)	黒田美作守		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-4	勘解由知行之内ニ相渡其方領地分易地遣事	元和9年9月朔日	忠之	黒田美作守		一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 7-5	三笠郡古賀村替地之事	寛永9年4月14日	忠之(黒印)	黒田美作守		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-6	[知行行状]	寛永8年8月12日	忠之(花押)	黒田三左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-7	知行目録	寛永8年8月12日	忠之(黒印)	黒田三左衛門		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-8	[知行行状]	寛永2年5月朔日	忠之(花押)	黒田三左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-9	知行目録	寛永2年5月朔日	(忠之黒印)	黒田三左衛門		一紙 (継)	1	
三奈木黒田家文書 7-10	[知行行状]	明暦2年3月23日	光之	黒田三左衛門	加増	折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-11	加増目録	明暦2年3月23日	光之(黒印)	黒田三左衛門		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-12	[知行行状]	萬治2年2月晦日	光之	黒田吉介		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-13	[知行行状]	寛文12年9月15日	光之	黒田源左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-14	(知行)目録	寛文12年9月15日	(光之黒印)	黒田源左衛門		卷紙 (継)	1	
三奈木黒田家文書 7-15	[知行行状]	延宝5年12月11日	光之	黒田三左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-16	加増知行目録	延宝5年12月11日	(光之黒印)	黒田三左衛門		一紙	1	
三奈木黒田家文書 7-17	[知行行状]	貞享3年3月11日	光之	黒田源左衛門	為扶助	折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-18	(知行)目録	貞享3年3月11日	(光之黒印)	黒田源左衛門		一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 7-19	[知行行状]	元禄15年3月7日	綱政	黒田源左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 7-20	(知行)目録	元禄15年3月7日	(綱政黒印)	黒田源左衛門		巻紙 (継)	1	
三奈木黒田家文書 31	エケレス船長長崎へ来たる時家老より出した書状并言上之草稿	(延宝元年)			(31-1~27有)	卷子 (袋入)		
三奈木黒田家文書 31-1	書状	(江戸期)27日			エケレス船長崎へ参着	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-2	書状	(江戸期)6月12日	立花勘左衛門外	黒田源左衛門	エケレス船着船の事外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-3	書状	(江戸期)6月4日	立花勘左衛門外	黒田源左衛門	エケレス船参着一件外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-4	覚	(江戸期)6月4日			大村因幡殿家老当地着、外 大名家臣参着、帰国日付 書、エケレス船警固一件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-5	書状	(江戸期)6月9日	山田彦兵衛外	黒田源左衛門	蘭船二艘入津、エケレス船 参着	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-6	覚	(江戸期)6月25日	黒田源左衛門	小河惣兵衛外	エケレス船参着一件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 31-7	書状	(江戸期)6月26日	黒田源左衛門	小河権兵衛外	長崎警備関係	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-8	書状	(江戸期)6月27日	山崎彦兵衛外	黒田源左衛門	ゑけれす船帰帆外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-9	書状	(江戸期)6月29日	鎌田九郎兵衛外	黒田源左衛門	エケレス船帰帆外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-10	書状	(江戸期)7月朔日	鎌田九郎兵衛外	黒田源左衛門	エケレス船帰帆一件外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-11	書状	(江戸期)7月朔日	鎌田九郎太夫・吉 田七左衛門外		エケレス船帰帆一件外	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 31-12	書状	(江戸期)7月2日	小川権左衛門・立花勘左衛門外	黒田源左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 31-13	毛利長兵衛持参御覚書之御請	(江戸期)7月4日	黒田源左衛門	黒田平左衛門	エケレス船帰帆一件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 31-14	書状	(江戸期)7月7日	加藤半之允	黒田源左衛門	長崎警備一件	折紙	1	
三奈木黒田家文書 31-15	書状	(江戸期)7月7日	黒田平左衛門	黒田源左衛門	御石火矢御用意松平丹後守様江御通達の件外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 31-16	書状	(江戸期)7月12日	小川権左衛門外	黒田源左衛門	阿蘭陀船エケレス船に参会、エケレス人皆殺船并貨物取、エケレス船に乗移致	折紙	1	
三奈木黒田家文書 31-17	鍋島志摩より之口上覚	(江戸期)7月16日			エケレス船帰帆一件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 31-18	書状	(江戸期)7月2日	小川権左衛門外	黒田源左衛門	エケレス船帰帆一件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 31-19	覚	(江戸期)			石火矢仕かけ件	折紙	3	
三奈木黒田家文書 31-20	口上覚	(江戸期)6月28日			エケレス船帰帆一件	一紙	1	
三奈木黒田家文書 31-21	覚	(江戸期)丑ノ7月			長崎警備人数	折紙	3	
三奈木黒田家文書 31-22	御加番衆戻御船組之覚	(江戸期)丑ノ7月27日				折紙	3	
三奈木黒田家文書 31-23	鍋島志摩ヨリノ口上之覚	(江戸期)			エケレス船帰帆の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-24	書状	(江戸期)5月27日	黒田市十郎	黒田源左衛門	長崎警備の件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-25	書状	(江戸期)6月25日	黒田源左衛門	立花勘左衛門	長崎警備一件	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 31-26	覚	(江戸期)			エケレス船一件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 31-27	エケレス荷物	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 32	エケレス船長崎江来ル時従光之公賜ル御書并御号令	(延宝元年)			但し岡野孫九郎書状在此中(32-1~16有)	卷子(袋入)		
三奈木黒田家文書 32-1	書状	(江戸期)5月25日	岡野孫九郎	松平右衛門佐	今廿五日エケレス船入津、商売船ニ而	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-2	書状	(江戸期)6月27日	光之(花押)	黒田源左衛門	エケレス舟之儀彼国主とぼるとがる縁組仕由日本御禁制之宗門と致縁組儀候間商売御赦免不被成候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-3	覚	(江戸期)6月29日	光之(花押)	黒田源左衛門	エケレス舟警備一件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 32-4	書状	(江戸期)7月7日	光之(花押)	黒田源左衛門	其元逗留太儀存候、毛利長兵衛差越申遣候儀	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-5	覚	(江戸期)7月7日	光之(花押)	黒田源左衛門	石火矢仕かけ舟差越の件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 32-6	書状	(江戸期)7月21日	光之(花押)	黒田源左衛門	生干鯉・あらき酒差越の礼、永々被相詰太儀候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-7	書状	(江戸期)7月22日	筑前綱之(花押)	黒田源左衛門	生干鯉・あらき酒の礼、其元逗留太儀候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-8	書状	(江戸期)7月28日	岡野孫九郎(花押)	松右衛門佐	エケレス船之儀去ル廿六日帰帆申付候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-9	書状	(江戸期)8月6日	岡野孫九郎(花押)	黒田源左衛門	エケレス船帰帆の件	折紙	1	
三奈木黒田家文書 32-10	書状	(江戸期)7月11日	岡野孫九郎	黒田源左衛門	エケレス船帰帆の順風無之迷惑候	切紙	1	
三奈木黒田家文書 32-11	書状	(江戸期)7月26日	岡野孫九郎	黒田源左衛門	少御物語申度御出待入候	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 32-12	船指図	(江戸期)			三百八十石船	一紙	1	
三奈木黒田家文書 32-13	[火縄仕懸図]	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 32-14	覚	(江戸期)6月			石火矢仕懸申船の件、石火矢数十七挺	一紙	1	
三奈木黒田家文書 32-15	覚	(江戸期)7月17日			鉛玉、鉄玉書上	一紙	1	
三奈木黒田家文書 32-16	[覚]	(江戸期)			石火矢役衆書上	折紙	1	
三奈木黒田家文書 33	一任公ヨリ一貫公江被進御書	(江戸期)			(33-1~22有)	卷子 (袋入)		
三奈木黒田家文書 33-1	書状	(江戸期)2月7日	三左衛門(花押)	源左衛門	元升到御目にかかりたし	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-2	書状	(江戸期)2月7日	三左衛門(花押)	源左衛門	元升との出会	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-3	書状	(江戸期)2月14日	三左衛門	源左衛門	新敷鯛料理申付候	一紙	1	
三奈木黒田家文書 33-4	書状	(江戸期)3月29日	黒(田)三左衛門 (花押)	黒田源左衛門	実相院請人も無之不吟味成弟子を取申儀不調方に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-5	書状	(江戸期)3月29日	三左衛門(花押)	源左衛門	殿様外爰元御発駕飯塚へ御越被成候	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-6	書状	(江戸期)卯月朔日	三左衛門	源左衛門	鶉の礼、新造様平産祝儀の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-7	書状	(江戸期)卯月朔日	三左衛門(花押)	源左衛門	実相院一件吟味の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-8	書状	(江戸期)卯月2日	三左衛門(花押)	源左衛門	殿様御帰館の件	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 33-9	書状	(江戸期)5月19日	三左衛門	源左衛門	我等はかた矢倉門屋敷ニ移り申間敷、我等一代ハ姪之浜ニ住宅仕り今の屋敷にて死に可申ときめ申候	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-10	書状	(江戸期)5月24日	三左衛門	源左衛門	矢倉門屋敷普請の件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-11	書状	(江戸期)6月11日	三左衛門(花押)	源左衛門	三郎左衛門祝言の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-12	書状	(江戸期)6月23日	三左衛門	源左衛門	当月中には廻れす船の到来も可有之、御成座敷出来の件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-13	書状	(江戸期)			三左衛門拝領屋敷の件、三郎左衛門への渡し銀、後欠	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-14	書状	(江戸期)7月22日	三左衛門	源左衛門	大おどり指留候事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-15	書状	(江戸期)8月12日	三左衛門	源左衛門	若殿様源左衛門宅に御成名月御覧可被遊候	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-16	書状	(江戸期)8月12日	三左衛門	源左衛門	我等能成今朝よりハ座敷内あるき申候	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-17	書状	(江戸期)9月8日	三左衛門(花押)	源左衛門	我等死に申候跡女房共への合力の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-18	書状	(江戸期)10月16日	三左衛門(花押)	源左衛門	貴殿三奈木出立春日一宿その後帰福候よし	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-19	覚	(江戸期)11月13日	三左衛門	源左衛門	書状書上	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-20	書状	(江戸期)12月4日	三左衛門	源左衛門	宮内様福岡御着候は、貴殿を以御悦御申可給、付、裏文書有(同内容)	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-21	書状	(江戸期)12月11日	三左衛門(花押)	源左衛門	めがね十二年先におらんだかびたんよりもらい申候外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 33-22	覚	(江戸期)			料理振舞、供人書上	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 35	エケレス船来ル時従一貫家来中江号令書	(延宝元年)			(35-1~8有)	卷子 (袋入)		
三奈木黒田家文書 35-1	五拾石小早供	(江戸期) 丑7月	一貫		小西九郎太夫・萩本与右衛門・下村久右衛門裁判之		1	
三奈木黒田家文書 35-2	馬印船六丁小早乗組	(江戸期) 丑7月	一貫	新免市郎右衛門			1	
三奈木黒田家文書 35-3	五拾六丁船乗組	(江戸期) 丑7月	一貫	萩本伊右衛門			1	
三奈木黒田家文書 35-4	四拾丁鉄炮船乗組	(江戸期) 丑7月	一貫		和田佐左衛門支配之		1	
三奈木黒田家文書 35-5	五拾丁船乗組	(江戸期) 丑7月	一貫		加藤清左衛門支配之		1	
三奈木黒田家文書 35-6	覚	(江戸期) 7月4日	守嶋八郎左衛門・田中甚大夫		支度次第罷越候		1	
三奈木黒田家文書 35-7	覚	(江戸期)			具足		1	
三奈木黒田家文書 35-8	覚	(江戸期)			具足類		1	
三奈木黒田家文書 37	[武具書類]	(江戸期)			(破損有)	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 38	御書八枚	(江戸期)			壱岐島御馳走被仰付被置候家老衆むかひに云々外	折紙	8	
三奈木黒田家文書 62	甲斐守様・伊勢守様御書 諸侯ヨリ来ル御書簡	天保7年11月上旬			(天保七年十一月上旬表装、62-1~14有)	卷子		
三奈木黒田家文書 62-1	書状	(江戸期) 11月19日	黒田甲斐守孝政(花押)		堀平右衛門万事仕置をも不仕引籠居申候		1	
三奈木黒田家文書 62-2	書状	(江戸期) 正月5日	伊勢守長清(花押)	黒田美作	無異越年の由、進物の礼と返礼		1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 62-3	書状	(江戸期)3月11日	伊勢守長清(花押)	黒田美作	長崎持参の録豆紛、味噌漬甘鯛の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-4	書状	(江戸期)9月6日	伊勢守	黒田美作	直方ヨリ持せ候間羽織地送申候		1	
三奈木黒田家文書 62-5	書状	(江戸期)9月21日	伊勢守長清	黒田美作	無程阿蘭陀帆影見隠可被罷帰と推察、名酒、時雨味噌等の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-6	松平右衛門佐領分於筑州相ノ嶋馳走ノ覚書状	(江戸期)7月9日			宗対馬		1	
三奈木黒田家文書 62-7	書状	(江戸期)3月13日	清流院	黒(田)三左衛門	おつる祝言の事		1	
三奈木黒田家文書 62-8	書状	(江戸期)6月10日	久 大和守広之(花押)	黒田源左衛門	貴殿へ家督并役儀等相続候様と御申付候由、進物の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-9	書状	(江戸期)6月8日	酒 河内守忠明(花押)	黒田源左衛門	家督役儀等迄御申付候由、進物の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-10	書状	(江戸期)6月8日	酒 雅楽頭忠清(花押)	黒田源左衛門	家督役儀御申付候由、進物の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-11	書状	(江戸期)正月27日	保科肥後守(花押)	黒田美作・栗山大膳亮	右衛門佐も近日様子も能様ニ見及申候		1	
三奈木黒田家文書 62-12	書状	(江戸期)10月9日	松 肥前守(花押)	黒田三左衛門	右衛門佐殿御無力珍重に存候		1	
三奈木黒田家文書 62-13	書状	(江戸期)7月10日	黒 甲斐守(花押)	黒田源左衛門	進物の礼		1	
三奈木黒田家文書 62-14	書状	(江戸期)10月15日	黒 甲斐守(花押)	黒田次郎太夫	三左衛門死去に付		1	
三奈木黒田家文書 63	諸方之來札	(天保7)丙申年11月			(天保七丙申年十一月表装、袋入、63-1~11有)	卷子	1	
三奈木黒田家文書 63-1	書状	(江戸期)2月13日	大夫	黒田蔵人	駿府へ参上、頓而可令上洛候		1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 63-2	書状	(江戸期)2月朔日	宰相	黒田蔵人	いづの石場へも山より海端 迄石を出し申し候外		1	
三奈木黒田家文書 63-3	書状	(江戸期)5月3日	宰相	黒田蔵人	其地本丸普請之儀何も被申 談石垣やぐらこわし可被申 候		1	
三奈木黒田家文書 63-4	書状	(江戸期)8月12日	宰相	黒田蔵人	舟材木急度出候様		1	
三奈木黒田家文書 63-5	書状	(江戸期)12月16日	宰相	黒田蔵人	其方むすめ青木弥右衛門方 へ可遣候件		1	
三奈木黒田家文書 63-6	書状	(江戸期)6月21日	大夫	黒田蔵人	將軍御上洛、我等も京都に 滞留覚悟に候		1	
三奈木黒田家文書 63-7	書状	(江戸期)6月30日	大夫	黒田蔵人	十八日建仁寺迄上着		1	
三奈木黒田家文書 63-8	書状	(江戸期)8月朔日	大夫	黒田蔵人	普請之儀牧主馬相談被申之 由尤之儀候		1	
三奈木黒田家文書 63-9	覚	(江戸期)3月23日	成瀬隼人・安藤帯 刀	松平右衛門佐	黒田騒動後の国政指南		1	
三奈木黒田家文書 63-10	覚	(江戸期)6月11日		黒田三左衛門	長崎御番関係		1	
三奈木黒田家文書 63-11	書状	(江戸期)正月6日	黒(田)甲斐守長 重	黒田源左衛門	(秋月藩主より)年暮年始の 進物の礼		1	
三奈木黒田家文書 64	如水公長政公御遺書写・忠之公 御書付・光之公御遺書等之写	(元和9年～宝永4 年)				卷子 (袋 入)	1	
三奈木黒田家文書 65	從諸方来る書簡	天保7丙申年11月 上旬御仕立ニ相成			(65-1～15有)	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 65-1	書状	(江戸期)臈月6日	井 主馬	黒田作州		一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-2	書状	(江戸期)1月2日	黒 監物	黒 作州	十庵老ヨリ秋月への状相 調、大膳殿ヨリ参候状送付	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 65-3	書状	(江戸期)2月6日	栗山大膳	高木筑後守・小出大和守外	依上意当地伺公仕候、右衛門佐於在所領地被召上との訴え(黒田騒動)、卷子の内	折紙	1	
三奈木黒田家文書 65-4	書状	(江戸期)7月16日	栗 大膳	黒 作州		一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-5	書状	(江戸期)5月10日	道栢	黒 美作	十三日の晩奉待候	一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-6	書状	(江戸期)卯月15日	小 内蔵允	黒 作州	御差図次第七郎右可申談候由	一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-7	書状	(江戸期)酉ノ6月29日	小川内蔵介	黒田美作	隠居の件	一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-8	書状	(江戸期)3月24日	毛利吉左衛門	黒田美作守	茶会への招待	一紙	1	
三奈木黒田家文書 65-9	書状	(江戸期)9月10日	□□五郎女	三左衛門	一封届申候		1	
三奈木黒田家文書 65-10	書状	(江戸期)10月3日	立花□左衛門	黒田三左衛門		折紙	1	
三奈木黒田家文書 65-11	書状	(江戸期)7月7日	立花五郎左衛門外	黒田三左衛門	朝鮮人壱州出船の到来被聞召、其元江者渡海可被遊候	折紙	1	
三奈木黒田家文書 65-12	書状	(江戸期)極月23日	久世半三郎・倉八十大夫外	黒田美作守	馬参着	折紙	1	
三奈木黒田家文書 65-13	書状	(江戸期)	浦上彦兵衛	黒田三左衛門			1	
三奈木黒田家文書 65-14	書状	(江戸期)7月9日	斎藤忠兵衛	黒田清左衛門外	御香奠献上被仰付	折紙	1	
三奈木黒田家文書 65-15	林又右衛門佐賀江御使参候節同所家老ヨリ返礼之写	(江戸期)6月19日	鍋嶋志摩	黒田清左衛門外	右衛門佐様御卒去に付長崎御番所の件	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66	国君御代々賜先祖ノ以来御書	天保7年11月上旬			(天保七年十一月上旬御仕立ニ相成、66-1~15有)	卷子(袋入)		

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 66-1	書状	(江戸期)2月24日	長政(花押)	後藤又兵衛・黒田三左衛門	助五郎事	一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-2	江戸普請諸事入目算用	(江戸期)10月28日	長政(黒印)	毛利但馬守外4名		一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-3	覚	(江戸期)10月2日	忠之(花押)	黒田美作・小河内蔵允	家臣の配置	一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-4	目録	寛永13年11月9日	忠之(黒印)	宮田忠右衛門	知行	一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-5	書状	(寛永9年)7月10日	忠之(花押)	黒田美作	栗山大膳一件	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-6	書状	(江戸期)5月5日	黒田官兵衛高政(花押)	毛利数馬助	来十三日の晩可被成御越の由御意(直方藩)	一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-7	前書	寛永9年7月3日	松平右衛門佐	竹中采女正	栗山大膳一件	一紙	1	
三奈木黒田家文書 66-8	書状	(江戸期)7月9日	光之(花押)	黒田三左衛門	南蛮船帰帆、其方逗留見舞	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-9	書状	(江戸期)	松(平)筑前(花押)	黒田三左衛門	進物	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-10	書状	(江戸期)	松(平)筑前(花押)	黒田源左衛門	進物の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-11	書状	(江戸期)12月26日	松平右衛門佐		信濃守病に付下向	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-12	書状	(江戸期)	松平筑前(花押)	黒田源左衛門	進物の事	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-13	書状	(江戸期)10月8日	松平筑前守(花押)	黒田源左衛門・黒田平右衛門	無事大坂着	折紙	1	
三奈木黒田家文書 66-14	書状	(江戸期)6月18日	筑前守綱之(花押)	黒田源左衛門	家督相続為祝詞進物の礼	折紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 66-15	書状	(江戸期)3月25日	芳春院	黒田美作	進物の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67	従諸方来ル書簡	天保7丙申年11月上旬			(67-1~8有)	卷子 (袋入)		
三奈木黒田家文書 67-1	書状	(江戸期)10月15日	樋口孫左衛門外	黒田三左衛門	右衛門佐様への礼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 67-2	書状	(江戸期)7月6日	熊沢八郎左衛門外	三左衛門	朝鮮通信使藍嶋へ渡海	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67-3	書状	(江戸期)11月19日	根本金大夫外	黒田源左衛門	緩々御休息候用にと被思召	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67-4	書状	(江戸期)9月13日	浦上彦兵衛	黒田源左衛門	殿様長崎御越、御婚礼首尾好調外	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67-5	書状	(江戸期)11月28日	彦兵衛	源左衛門	三左衛門跡役の儀、若殿前髪御取被成	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67-6	覚	(江戸期)10月27日	五郎左衛門外	源左衛門外	殿様御勝手別而差問申候につき俚約の事	折紙	1	
三奈木黒田家文書 67-7	覚	(江戸期)7月7日	斎藤忠兵衛	黒田清左衛門外	大殿様御卒去に付長崎御番の件	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 67-8	覚	(江戸期)卯3月25日			筑前素行につき		1	
三奈木黒田家文書 68	犬萬様御書并御條令書且従諸方来ル書簡	天保7丙申年11月上旬			(68-1~10有)	卷子 (袋入)		
三奈木黒田家文書 68-1	書状	(江戸期)3月9日	黒田犬万(花押)	黒田源左衛門	歳暮の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 68-2	條々	寛永15年正月14日	戸田左門・松平伊豆		陣中法度	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-3	條々	寛永15年正月14日	戸田左門・松平伊豆		陣中法度	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 68-4	書状	(江戸期)7月2日	宗対馬守内平田隼人外	松平右衛門佐	信使日本料理ハ給馴不被申候故	折紙	1	
三奈木黒田家文書 68-5	書状	(江戸期)10月15日	田嶋十郎兵衛成次(花押)	黒田三左衛門	朝鮮人能書手跡額進覧	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-6	書状	(江戸期)10月15日	田嶋十郎兵衛成次(花押)	黒田三左衛門・浦上彦兵衛	右衛門佐よりの進物の礼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-7	書状	(江戸期)10月15日	原五助一政外	黒田三左衛門	右衛門佐ヨリ拝領物の礼の取次依頼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-8	書状	(江戸期)10月15日	田中善右衛門成久(花押)	黒田三左衛門・浦上彦兵衛	右衛門佐様より礼状の取次依頼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-9	書状	(江戸期)10月14日	原五助一政(花押)	黒田三左衛門	進物の礼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 68-10	書状	(江戸期)10月21日	斎藤忠兵衛・鎌田八左衛門	黒田源左衛門	貴様御暇伺に付	折紙	1	
三奈木黒田家文書 68-11	書状	(江戸期)7月9日	斎藤忠兵衛	黒田清左衛門外	刺髪願免候面々	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69	先祖以来之書簡	天保7丙申年11月上旬仕立			(69-1~13有)	卷子(袋入)	1	
三奈木黒田家文書 69-1	書状	(江戸期)2月27日	黒 美作守	大鳥居信岩老	神前供物御酒の事	一紙	1	
三奈木黒田家文書 69-2	書状	(江戸期)12月24日	黒 美作守一成(花押)	中山佐右衛門	其元運上銀調	切紙	1	
三奈木黒田家文書 69-3	書状	(江戸期)卯月16日	黒 美作守(花押)	聴松庵老	豊前ヨリの来状、薬種依頼	一紙	1	
三奈木黒田家文書 69-4	書状	(江戸期)7月6日	三左衛門	九郎左衛門	酒の礼	切紙	1	
三奈木黒田家文書 69-5	書状	(江戸期)11日	三左衛門		あじ・このしろの礼、風引返し候	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 69-6	書状	(江戸期)3月朔日	三左衛門(花押)	吉留村正右衛門	節句祝のかうがいの礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-7	書状	(江戸期)8月25日	黒 三左衛門(花押)	吉留村正右衛門	底井野御越、生匏持参の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-8	書状	(江戸期)9月6日	黒 三左衛門(花押)	吉留村正右衛門	生匏の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-9	書状	(江戸期)12月24日	黒 三左衛門(花押)	吉留村正右衛門	歳暮の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-10	書状	(江戸期)5月3日	三左衛門(花押)	吉留村亀次郎	為端午之祝儀鯉の礼	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-11	書状	(江戸期)8月13日	黒 美作守		おせん様万吉様息災、来年の普請の件(破損)	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-12	書状	(江戸期)7月24日	黒田美作一利(花押)	斎藤忠兵衛	宣政様容体何度	折紙	1	
三奈木黒田家文書 69-13	書状	(江戸期)7月27日	黒田美作一利(花押)	斎藤忠兵衛	为上使三浦壱岐守御出、香奠拝受	折紙	1	
三奈木黒田家文書 90-1	條々(写)	慶長6年卯月6日	長政	黒田惣右衛門・栗山四郎右衛門外		一紙	1	
三奈木黒田家文書 176	うち出野浜日記	延享3年				書冊	1	
三奈木黒田家文書 208	御台場御築増一件ニ付阿部様より御懇達以後之頭付	嘉永2年4月				書冊(小)	1	
三奈木黒田家文書 263	書状	(江戸期)3月22日			市内出京一条ニ付讃州連名之貴書の事、侍従様御轡拝領被仰付有難	切紙	1	
三奈木黒田家文書 264	〔日記〕	(江戸期)正月			年頭御手数書上	切紙	3	
三奈木黒田家文書 317	於江府御認被遊候御直書御請	弘化4年未年正月21日	小河専太夫・浦上彦兵衛・黒田播磨		伊王嶋一件	切紙(包紙入)	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 428	[長崎日記]	寛政11年9月15日 ～10月29日				書冊	1	
三奈木黒田家文書 429	[長崎日記]	天明5年9月15日～ 11月4日				書冊	1	
三奈木黒田家文書 431	御名代日記	天明3年			御家督初而長崎御番所御見廻御名代被差越候一件	書冊	1	
三奈木黒田家文書 493	長崎滞留日記	文化4年9月～10月				長帳	1	
三奈木黒田家文書 502	長崎御往来日記	(江戸期)	斉溥			小横綴	1	
三奈木黒田家文書 513	郡浦御用頭付	文化9年11月～12月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 514	郡浦御用頭付	文化10年癸酉5月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 515	郡浦御用頭付	文化10年正月～4月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 516	郡浦御用頭付	文化9年8月～10月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 517	郡浦御用頭付	文化9壬申年3月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 518	郡浦御用頭付	文化9年6月～7月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 522	郡方御用	文化9壬申年4月ヨリ				書冊	1	
三奈木黒田家文書 549	御茶屋寄合日記	文化13年子正月			三奈木家臣関係	長帳	1	
550	日記	(慶応4年～明治2年)			幕末～明治初の政情	書綴	1	
三奈木黒田家文書 586-1	盗人三八口書	(延宝4年)辰ノ7月8日				卷子	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 586-2	乍恐御断申上事	延宝4年7月11日	甘木村美麗作右衛門	山部伝十郎・加藤田孫左衛門	拝借銀返納一件	一紙	1	
三奈木黒田家文書 586-3	覚	(延宝4年)			薬蔵塩硝蔵等普請願	一紙	1	
三奈木黒田家文書 586-4	書状	(延宝4年)7月17日	中嶋太兵衛	肥塚次郎兵衛	中国俵山に湯治願	一紙	1	
三奈木黒田家文書 586-5	覚	(延宝4年)辰7月22日	吉田権右衛門	小河専太夫	弟逗留許可願	一紙	1	
三奈木黒田家文書 586-6	口上之覚書	延宝4年7月11日	きねや九兵衛	長濱四郎右衛門	久留米医者一家居住願	一紙	2	
三奈木黒田家文書 592	日記	延享4年卯9月28日			若殿様福岡御発駕次第	小横帳	1	
三奈木黒田家文書 642	御笠郡国分村一作名寄帳	(明治初年)				長帳	1	
三奈木黒田家文書 650	覚	(明治初年)			国分村余米田地畝数并神武原御開百姓名元外	長帳	1	
三奈木黒田家文書 870	水城野添山上納	(慶応2年～明治3年)				長帳	1	
三奈木黒田家文書 884	[抱畠覚]	(江戸期)			国分村	長綴	1	
三奈木黒田家文書 955	御布告写	明治5年2月8日写			改正名届出、士族卒商売取止メ之節届書	長綴	1	
三奈木黒田家文書 981	国分村田畠庄屋ヨリ遣書ス	(江戸期)				長綴	1	
三奈木黒田家文書 1247	御巡見使御帰路御付廻り相勤之節日記	天保9年				長帳	1	
三奈木黒田家文書 1282	日記	文化6年巳6月ヨリ				書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1288	長防御出勢人数	(江戸後期)			御領内宿陣ヶ所割	長綴	1	
三奈木黒田家文書 1289	御出勢定	(江戸後期)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1290	條々	慶応2年6月			兵事における心構え	書綴	1	
三奈木黒田家文書 1295	[長州征討陣揃]	(江戸後期)			芸州口・石州口・上之関口・下之関口・萩口討手大名書上	一紙	1	
三奈木黒田家文書 1296	[覚]	(江戸後期)			大蔵・黒崎・木屋瀬等の戦備(長州戦時)	一紙	1	
三奈木黒田家文書 1297	一之先御備御人数組	(江戸後期)			長州戦時	長帳	1	
三奈木黒田家文書 1298	[覚]	(文久2年)		松平肥前守	毛利大膳父子伏罪之儀ニ付仰渡書	一紙	1	
三奈木黒田家文書 1326	書籍目録	(明治期)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1443	殿中日記	文化12年				小横帳	5	
三奈木黒田家文書 1444	殿中日記	文化13年				小横帳	4	
三奈木黒田家文書 1445	殿中日記	文化14年				小横帳	5	
三奈木黒田家文書 1446	殿中日記	文化15年				小横帳	3	
三奈木黒田家文書 1447	殿中日記	文政元年				小横帳	4	
三奈木黒田家文書 1448	殿中日記	文政2年				小横帳	5	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1449	殿中日記	文政3年				小横帳	6	
三奈木黒田家文書 1450	殿中日記	文政4年				小横帳	4	
三奈木黒田家文書 1451	御用頭付	文政5年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1452	御用頭付	文政6年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1453	御用頭付	文政7年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1454	御用頭付	文政8年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1455	御用頭付	文政9年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1456	御用頭付	文政10年			日記	小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1457	御用書留	文政11年				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1458-1	御用書留	文政12年				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1458-2	日記	文政13年1月～12月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1459	御用書留	文政14年				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1460	〔日記〕	天保5年				小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1461	〔日記〕	天保6年			天保六年是より学問武芸御引立御要害船方御用請持被仰付	小横帳	3	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1462	殿中日記	天保7年				小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1463	殿中日記	天保8年				小横綴	2	
三奈木黒田家文書 1464	殿中日記	天保9年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1465	殿中日記	天保10年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1466	天保十三年日記	(天保13年)				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1467	殿中日記	天保15年～弘化2年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1468	殿中日記	弘化3年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1469	殿中日記	弘化4年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1473	文化十三年、十四年、日記書抜	文化13年、14年				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1474	〔日記〕	天保4年1月～6月				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1476	〔日記〕	文化9年10月～同10年正月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1477	〔日記〕	(文化10年頃)8月～10月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1478	〔日記〕	(文化11年)8月～9月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1479	〔日記〕	(文化11年)10月～12月				小横帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1480	日記	天保3・4年			(1480-1~4(天保三年三冊・同四年一冊))	小横帳	4	
三奈木黒田家文書 1481	〔日記〕	(江戸後期)正月~4月・6月~7月				小横帳	2	
三奈木黒田家文書 1501	覚	(安政5年~慶応3年)			西洋調練、長州征討の記事外	小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1502	公用記	嘉永7年6月3日~12月				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1515	廻郡日記	文化9年11月3日~17日				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1516	御巡見使口廻相勤候節覚日記	(江戸後期)				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1527	往来東海道日記	天保9年5月				長綴	1	
三奈木黒田家文書 1534	出府日記	明和7年				書綴	1	
三奈木黒田家文書 1536	出府日記 上・下	文化8年			(1536-1・2)	書綴	2	
三奈木黒田家文書 1537	出府日記	天保9年				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1552	江戸ヨリ来ル	天保12年11月			出入風聞	書冊	1	
三奈木黒田家文書 1553	江戸ヨリ来ル	天保12年12月			風聞	書冊	1	
三奈木黒田家文書 1561	風説書写	(天保11年)子ノ9月				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1562	江戸ヨリ来ル	天保11年5月			風説書	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1566	風説書	天保12年写			伊丹所持之分借用写	書冊	1	
三奈木黒田家文書 1567	風説	天保13年				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1568	風説	天保13年				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1569-1	江戸御政事御改革ニ付御達書并風説書之写	天保13年9月				書綴	1	
三奈木黒田家文書 1569-2	江戸御政事御改革ニ付於大坂表町御奉行ヨリ市中江御達書之写	天保13年			江戸ニテ風説書写共	書綴	1	
三奈木黒田家文書 1570	江戸ヨリ来ル	天保10年			西御丸普請、町触外	書綴	1	
三奈木黒田家文書 1571	西丸御普請ニ付上納金并御用掛リ御名元	(江戸後期)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 1572-1	名古屋一件	(江戸後期)			尾州表騒動風説	書綴	1	
三奈木黒田家文書 1572-2	江戸ヨリ来ル	天保10年亥8月			御家御相続之儀ニ而尾州表騒動仕候風説云々	書綴	1	
三奈木黒田家文書 1630	斉隆公御参勤之節道中日記	寛政6年、同12年8月写	一定(花押)			小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1655	諸覚	(江戸期)			文化八年七月四日御尋有之差上候御借銀惣高、文化八年秋若松御積立所御米大豆御算用諸差引之覚外	小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1671	筑前国領地人数帳	文化13年	御勘定所			小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1674	諸士寺社預り山坪付帳	(江戸期)		郡奉行中		書綴	1	
三奈木黒田家文書 1706	[覚]	(天保13年)			長崎御番外藩政(天保十三年～嘉永四年)	小横帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 1710	当該九拾歳以上之男女存生之者 惣郡分町浦書上帳	(江戸中～後期)				小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1750	日記	安政3年辰			藩政	長帳	1	
三奈木黒田家文書 1751	日記	(江戸中期)5月～7月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 1755	[覚]	(江戸期)			達御聴候件々、財政関係	切紙	1	
三奈木黒田家文書 1811	下曾根金三郎ヨリ神屋宅之丞引合之廉書	(江戸後期)			御老中御屋敷にて調練の件	切紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 1812	風説書	(江戸後期)			老中水野出羽守若年寄中中下屋敷にて家来共調練の事外	切紙 (包紙入)	3	
三奈木黒田家文書 1838	毛利浦上一件御書相達拝受	天保9年11月27日			長右衛門・彦兵衛退役云々	切紙 (包紙入)	6	
三奈木黒田家文書 1853	御巡見使付廻相勤之節絵図類	天保9年戊戌				(包紙入)	3	
三奈木黒田家文書 1855	御台場一件ニ付佐嘉ヨリ御返答之趣	嘉永6年4月	鍋嶋新左衛門			小横綴	1	
三奈木黒田家文書 1870-1	書状	(江戸期)	適斉	美作	薩州桜島変異の書付、多吉郎の事、長崎ヨリの帰着祝	切紙 (包紙入)	3	
三奈木黒田家文書 1916	書状	(江戸期)8月5日	適斉	源左衛門	阿蘭陀人連れ来候漂流人の事	切紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 1933	書状	(江戸期)10月7日	適斉	美作	早く阿蘭陀船出帆いたし候様云々	切紙	1	
三奈木黒田家文書 1944	書状	(江戸期)8月27日	適斉	美作	琉球花夜来香の説明、平戸久兵衛薩摩之商船頭に頼手に入	巻紙 (包紙入)	2	
三奈木黒田家文書 2017	書状	(江戸期)5月	源正		御国財政に関して(前欠)	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 2020	江戸并御旅中江被指越分写	(江戸期)	松平下野守		此度攘夷之儀ニ付被仰出候勅書之趣	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2021	書状	(江戸期)8月晦日			勤務関係	切紙 (包紙入)	2	
三奈木黒田家文書 2022	書状	(江戸期)8月29日	五郎右衛門	小弁次	山城方御家老との面談御断に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2023	書状	(江戸期)8月晦日	山城	播磨	職務に関して	切紙	2	
三奈木黒田家文書 2024	最前兩人廻郡日記御用部屋江留候ニ付云々	文化			前書相仕立候得共趣意相違之所も有之候間手前見込書取差遣書面之通相極候其節之下書、美作外記郡浦請持	切紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2245-1	永代證文	天保5年8月	国分村百姓市次	鈴木専蔵外	国分御替地證文	巻紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2245-2	頂戴申上ル證文之事	天保5年9月	国分村百姓市次	鈴木専蔵・井村左吉		巻紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2362	指上證文之事	文政4年12月	国分村有平	鈴木要蔵・萩原藤市外1名	土地売渡	一紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2363	永代差上申證文之事	寛政元年12月19日	国分村幸助	吉村平六・里村只七	土地売渡	一紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2364	畠地永代ニ売渡申上ル證文之事	文化3年寅2月	国分村畠売主市作	加藤六右衛門・加藤磯右衛門・松隈九左衛門・間九太夫	国分御茶屋目障畠御買上に付	一紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2378	博多尾村甚右衛門対馬ニ鯨組居申證文	延宝2年			祖祖父従昭景様御威状之御判致頂戴候ニ付、付、天正十年昭景感状写、甲寅四月十二日鯨組居浦之事外	一紙 3・折紙 1(包紙入)	4	
三奈木黒田家文書 2383	[覚]	(江戸期)		播磨	悴三左衛門召仕方の儀に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2389	書状	(江戸後期)			美濃守様御容体之儀並びに浪人共騒乱之儀に付(2389-2396一括)	巻紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 2390	[覚]	(江戸後期)			防備に付人配の事、御政事筋諸役の事	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2391	書状	(江戸後期)	帆足弥次兵衛	長門	小倉への御返書差出の件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2392-1	演説書	(江戸後期)3月	黒田播磨・小川讃岐・林織部他3名		御参府に対する意見書	巻紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2392-2	書状	(幕末)4月8日	立花山城	黒田播磨・小川讃岐外3名	御参府に対する意見書	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2393	書簡	(明治以降)2月	西島種美	一美	大音素雪上京の際の諸費用	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2395	書状	(江戸後期)12月17日	浦上信濃・黒田長門	黒田播磨・立花山城外3名	御上洛の際の御供の事、その他長崎当番の状態など	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2396	書状	(江戸後期)6月13日	中村到	大和	政治社会状勢	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2417	郡正太夫江掛合下付	(江戸期)寅	浦上彦兵衛・櫛橋又之進・黒田三左衛門		人事外	切紙	6	
三奈木黒田家文書 2450	書状	(江戸期)7月24日	吉田主馬	大和	播磨退身之儀	巻紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2470	[道中日記]	(江戸期)				小横綴	3	
三奈木黒田家文書 2474	[日記]	文化10年2月12日～5月				小横帳	1	
三奈木黒田家文書 2479	書状	(江戸期)正月25日	加藤三郎右衛門	源左衛門	招待の断り	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2480	書状	(江戸期)6月13日	加藤四郎右衛門	源左衛門	病状報告	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2481	書状	(江戸期)正月8日	建部太左衛門	源左衛門	健康状態に付	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 2482	書状	(江戸期)4月17日	加藤七郎左衛門	源左衛門	長崎ヨリ帰着祝	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2483	書状	(江戸期)10月11日	加藤直右衛門	源左衛門	仕舞への招待に対する礼状	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2484	書状	(江戸期)7月28日	加藤七郎左衛門 一敦	源左衛門	時候の挨拶	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2485	書状	(江戸期)3月26日	半之丞	源左衛門	会合延引に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2486	書状	(江戸期)4月7日	市左衛門	源左衛門	勅使御領内御入込に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2487	書状	(江戸期)4月22日	小川遊外	源左衛門	到来物に対する礼状	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2488	書状	(江戸期)11月24日	晴宇	源左衛門	太宰府参詣並びに狐の誘い	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2489	書状	(江戸期)2月21日	重之助	古之丞	源左衛門太宰府参詣の際のお供	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2563	[覚]	(江戸期)			下国の延期並侍従様御補佐筋等之儀被仰付	切紙	5	
三奈木黒田家文書 2564	[覚]	(江戸期)			又之進長崎江船路の際医師付添	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2565	書状	(江戸後期)			御書御請并その例	切紙	3	
三奈木黒田家文書 2566	書状	(江戸期)3月13日	杉山文左衛門外5名		金山堀試御願一件ニ付	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2568	書状	(江戸後期)		播磨	京表不容易情勢ニ付上京之節御供申付	切紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2571	[抱山覚]	(江戸期)			志摩郡野北村・夜須郡曾根田村・那珂郡野間村・国分村・水城村	切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 2629-1	野添代御算用覚	明治3年午9月	下村六弥		水城野添山代差引目録	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 2629-2	水城野添山御拂代金差引帳	(明治期)				長帳	1	
三奈木黒田家文書 2644	書状	(江戸期)9月晦日	弾正	播磨	大坂における銀談経過報告等	切紙 1・巻紙 2(包紙入)	3	
三奈木黒田家文書 2678	書状	慶応元年6月8日			立花静軒の事、御咎以後慎方宜敷ニ付御登用被遊度	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2679	書状	(江戸後期)正月5日	山城	播磨	大樹公御上洛之儀、侍従様下国の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2681	書状	(慶応元年)			近来弥以家中二ツニわかれ云々に付、立花静軒登用以之外 (2678の答書)	切紙 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 2694	関東御達写 外	(文久3年)			松平大膳大夫一件等幕末の政治状勢	切紙	5	
三奈木黒田家文書 2703	書状	(江戸期)2月26日	林織部・黒田播磨	黒田山城・浦上信濃	御用部屋人繰之儀	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2705	演舌之扣	(江戸後期)			幕末の社会情勢	長綴	1	
三奈木黒田家文書 2725	書状	(江戸後期)6月28日	小川讃岐	黒田播磨	着京祝、御軍用金御吹立の儀、長州家老登京の件	切紙 (包紙入)	4	
三奈木黒田家文書 2733	覚	(江戸期)酉12月12日			御財用御繰合極々六ヶ敷内情	切紙	3	
三奈木黒田家文書 2766	書状	(江戸後期)		播磨・山城・因幡	信濃へ軍事総裁申付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2781-1	書状	(元治元年)			長防御追討被仰付云々	巻紙	2	
三奈木黒田家文書 2781-2	書状	(元治元年～慶応2年)			長州征伐の事	切紙	11	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 2786	書状	(江戸期) 閏5月27日	甲斐守	三左衛門	貴殿様へ相談の件	切紙	1	
三奈木黒田家文書 2851	庫本出納簿	明治2年3月	黒田氏			書冊	1	
三奈木黒田家文書 2852	蔵書目録	(明治以降)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 2853	一成公御牌前江従殿様御代香ニ指出候一件	寛政8年				書冊	1	
三奈木黒田家文書 3034	明治十七年分水城村御余米納目録	明治17年分				書綴	1	
三奈木黒田家文書 3495	御笠郡国分村抱新建山御證抛山ニ被仰付坪割書上候事	延享3年6月			関係書付共に	一紙	3	
三奈木黒田家文書 3591	国府村仕上ル水城御立山誓紙	寛文13年10月・貞享2年8月	水城村山ノ口八郎兵衛・国府村庄屋新六外			一紙 (包紙入)	4	
三奈木黒田家文書 3675	覚	(江戸後期)			エンヒールト筒御買入ニ付調達金之儀	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 3678	書状	(江戸期) 5月28日	鬼木惣兵衛	藤井奎助・新野利助	国分村国分寺田地余米納	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3679	預リ	(江戸期) 辰6月3日・寅7月27日	松隈六蔵	御算用所	国分寺田畑余米分、生蠟会所金銭	一紙	2	
三奈木黒田家文書 3720	大賀甚三郎継目御礼之事	文化4年			御家臣国民類集ヨリ書抜	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3721	尊名熟字	(江戸期)				一包		
三奈木黒田家文書 3722	〔武術事〕	(江戸期)	中西忠蔵	山鹿八郎左衛門		巻紙	1	
三奈木黒田家文書 3723	書状	(江戸期)			少将様旅行の件	巻紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 3725	書状	文久3年	岡村文衛門	東條	長州征伐の件	切紙	3	
三奈木黒田家文書 3726	書状	(江戸期)6月25日	内藤	播磨	連名に而差上候書付の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3745	〔西洋砲術調練実施の意見書〕	(江戸後期)				巻紙	1	
三奈木黒田家文書 3749	〔覚〕	(江戸期)			財政に関する意見書、特に金山製煉傳習之儀	巻紙	1	破損あり
三奈木黒田家文書 3767	書状	(江戸後期)亥正月			従公儀勅書写御渡、諸侯方江攘夷策略御存念被仰出候様御達に付	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3775	山家御茶屋ニ付奉行出會之節	(江戸期)			屋敷図	一紙	1	
三奈木黒田家文書 3776	後濱見分之節略絵図	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3777	順田角左衛門書院之図	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3778	町人御礼之節	(江戸期)正月2日				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3779	寺社継目御礼之節絵図	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3780	寺社年始御礼之節絵図	(江戸期)				一紙	2	
三奈木黒田家文書 3781	松囃子之節着座その他絵図	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3782	列座覚(絵図)	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 3783	家敷内順路絵図	(江戸期)				一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 3785	[覚]	(江戸期)		弓頭・側筒頭・目付	大儉之趣向の義	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3800	覚	(江戸期)			長崎警備関係の書類目録	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3810	[覚]	(明治初年)		会計局主宰	諸藩ヨリ之御使者接待に付	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 3812	書状	(江戸期)正月7日		播州公	幕末の政治状勢	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3817	書状	(江戸期)			幕末の状勢、前後欠	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3881	大木藤十郎ヨリ御屋代手元江遣候唐国戦争之風説書	(江戸後期)				一紙 (包紙入)	2	
三奈木黒田家文書 3906	書簡	(明治以降)2月29日	小河愛四郎	一美	社寺改革の事	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 3917	書簡	(明治以降)4月3日			筋目之面々当家江出願之義ハ一美江引合候上差出の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3920	書状	(明治以降)			顧問の職お断願	長綴	1	
三奈木黒田家文書 3938	[書物目録]	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 3955	[崇福寺並びに東長寺覚]	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 3959	書簡	明治10年2月	長溥		西国筋不穩之趣ニ付云々	切紙	1	
三奈木黒田家文書 3990	[大塩平八郎の乱一件]	(江戸後期)				折紙	1	
三奈木黒田家文書 3997	国分村櫛畑御買上分証拠	明和9年3月10日	国分村庄屋	間九大夫外2名		一紙 (包紙入)	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 4015	参詣之手續覚	(江戸期)				巻紙	1	
三奈木黒田家文書 4036	書状	(江戸期)8月25日	河村五大夫武速	播磨・山城	当地人気騒々處取調子の件に付	切紙 (包紙入)	2	
三奈木黒田家文書 4039	京都ヨリ御達写	文久3年9月			七卿廢官の達	切紙	2	
三奈木黒田家文書 4059	宝暦十三年日記ヨリ	宝暦13年5月17日、6月2日			家老中御用談の事	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4074	書状	(江戸期)4月7日	荒木善左衛門・斎藤忠兵衛・桐山六兵衛・大田伊左衛門・引田与右衛門	黒田源左衛門外6名	此節御用方御分ヶ被成候一件に付丹後守との係わりに付	長綴 (包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 4086	櫛島覚	(明治以降)				長綴	1	
三奈木黒田家文書 4201	城州ヨリ之自筆御用状并返書	(文久2年)			幕末事情	書綴	1	
三奈木黒田家文書 4235	函書目録	(江戸期)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 4236	軸物目録	明治25年				書冊	1	
三奈木黒田家文書 4237	函書目録	(明治以降)				書綴	1	
三奈木黒田家文書 4254	記	(明治以降)			所持物目録	書綴	1	
三奈木黒田家文書 4255	掛物手鑑類根帳	明治17年8月				書冊	1	
三奈木黒田家文書 4256	軸物目録	(明治以降)				書冊	1	
三奈木黒田家文書 4297	御台場御備増一件書類				(4297-1~7-6を一括する袋)		14	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 4297-1	長崎御奉行江被指出之御存寄書案	(江戸期)				巻紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-2	佐賀聞役ヨリ之演説書写	嘉永3年				巻紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-3	佐賀聞役ヨリ之返答書	文化13年				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-4	御留守居名前之書付	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-5	井戸対馬守殿家ニ而御出会之節御覚書	弘化3年午年				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-6	[長崎警備に関する書付]	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-7	御台場御築次一件ニ付書付写	(江戸期)			(4297-1~4297-7-6を一包)		1	
三奈木黒田家文書 4297-7-1	御台場御備増御入目金凡左之通	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-7-2	御備増一式御入目銀ノ高凡之積書	(江戸期)				切紙	1	
三奈木黒田家文書 4297-7-3	御玉葉代銀凡之積覚	(江戸期)				小横綴(包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 4297-7-4	御台場御築立凡之積并御玉葉其外代銀凡之積書共	(江戸期)				小横綴1・切紙1(包紙入)	2	
三奈木黒田家文書 4297-7-5	両御番所御台場其外御築継ケ所々々御入目銀凡之積書	(江戸期)				長帳(包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 4297-7-6	沓貫目玉石火矢一挺御新製凡積	(江戸期)				長綴(包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 4369	[三奈木黒田家代々花押]	(江戸期)				切紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 4378	御拂書籍目録	明治2年2月				書綴	1	
三奈木黒田家文書 4395	[覚]	(江戸後期)			此節存寄の次第云々	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4437	書状	(江戸期)			幕末社会政治情勢	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4528	日記	(江戸後期)4月朔日～4月29日			長崎	長帳(小)	1	
三奈木黒田家文書 4530	天明二年出府日記	天明2年			藩政	書冊	1	
三奈木黒田家文書 4614	金送り状	明治11年12月24日	水城村買受人中	黒田一雄	大谷山林拂下代金	一紙	1	
三奈木黒田家文書 4615	記	明治11年12月24日	水城村	黒田一雄	大谷山林代金	折紙	1	
三奈木黒田家文書 4623	[覚]	明治3月13日	水城村百姓中	中嶋田村板並有	山御払下の礼	切紙(包紙入)	1	
三奈木黒田家文書 4646	書簡	(明治以降)3月18日	篠原善次		水城村・春日村御山拂下ケの儀	切紙(袋入)	1	
三奈木黒田家文書 4675	書状并目録	享和3年閏正月			如水・長政・忠之御書の写目録	切紙	2	
三奈木黒田家文書 4676	覚	(寛永19年～明暦3年)			院号勝智院外	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4677	[覚]	(江戸期)			書物目録	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4678	[備方覚]	(江戸期)				一紙	1	
三奈木黒田家文書 4720	書状	(江戸後期)12月2日	吉田	黒田大和・櫛橋内膳外	幕末の社会政治状勢	巻紙(包紙入)	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
三奈木黒田家文書 4734	帰家日記	(江戸期)	井上氏道女			小横帳	1	
三奈木黒田家文書 4735	五龍日記	明和3年8月	浮雲斎、一瓢散人識			書冊	2	
三奈木黒田家文書 4814	某書簡	(明治以降)			身のことの注告	切紙	1	
三奈木黒田家文書 4821	〔褒賞〕	(明治初期カ)6月		黒田一葦	在職中職務勲励により云々	巻紙	1	
三奈木黒田家文書 4829	辞表	(明治初年)5月15日	福岡藩黒田大参事	弁官御役所		一紙	1	
三奈木黒田家文書 4878	〔感謝状〕	明治38年7月30日、明治39年6月15日	黒田一義		寄付に付	一紙	2	
三奈木黒田家文書 4907	筑前国図説	(江戸期)				長帳(小)	1	
三奈木黒田家文書 4917	廻郡日記	(江戸後期)			怡土・志摩・早良・那珂郡	長帳(小)	1	
三奈木黒田家文書 4918	嘉麻穂波上座下座夜須廻郡日記	(江戸後期)				長帳(小)	1	
三奈木黒田家文書 4944	〔蔵書目録〕	(明治期)			貸借覚	長帳(小)	1	
三奈木黒田家文書 4971	寄贈図書目録	大正11年3月30日	黒田一弘		福岡県立図書館への寄贈	書綴 1・一紙1	2	
三奈木黒田家文書 5004	水城大谷野添山絵図	寛政8年辰2月				一紙	1	
三奈木黒田家文書 5005	水城大谷山絵図	寛政8年辰ノ2月				一紙	1	
古野家文書 537	太宰府詣記	嘉永5年	古野惣五郎威連			小横綴	1	
桧垣文庫 (中世史料) 57-2	満盛院快元書状	2月17日	快元(花押)	田尻大蔵少輔殿御宿所		継紙二紙	1	裏に別紙貼付、花押五(すべて同一)有り、端裏墨引有り、筑前町村書上帳にも収める

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (中世史料) 60-13	弁差家統・同家久連署申状写	天正4年7月21日	弁差助左衛門尉家統在判、同次郎右衛門尉家久在判	御守護役 田尻弾正忠□[殿]		継紙	1	青柳種信関係資料にも収める
桧垣文庫 (中世史料) 77-34	宮内少輔遵行状	天文2年9月3日	宮内少輔(花押)	西郷藤左衛門尉殿		縦紙	1	
桧垣文庫 (中世史料) 133-1	参考蒙古襲来記 巻	宝暦8年8月	石城府・淡窩主人書		博多古図、同海辺図、蒙古高麗奉国書事、蒙古再三渡牒使事	縦帳	1	
桧垣文庫 (中世史料) 133-4	八幡宮崎宮御神寶記	建治2年5月				縦帳	1	
桧垣文庫 (中世史料) 167-18	宗像家土知行帳(写)	(明治期写カ)				縦帳	1	
桧垣文庫 (中世史料) 220-35	蒲池副衆分坪付	(年月日未詳)				縦紙	1	端裏に「かまち」とあり
桧垣文庫 (中世史料) 222-7	今泉大泉坊公文十四帖(写)	(江戸期写)				縦帳	1	
桧垣文庫 (中世史料) 224-39	[覚]	文治2年9月13日他	藤原能貞	蒲原庄前司入道泰時		一紙	1	中世文書写
桧垣文庫 (中世史料) 254-5	杉連緒家臣連署書状	5月3日	重安(花押)(清水越後守)、緒信(花押)(真松新蔵人)、重忠(花押)(世良但馬守)	西郷右衛門尉殿(端裏書)		縦紙	1	端裏書、端裏捻封墨引あり
桧垣文庫 (中世史料) 254-6	段米納状	明応2年3月8日	柳阿(花押)			縦紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (中世史料) 254-7	大内氏奉行人連署奉書	文亀元年閏6月13日	中務丞(花押)(龍崎道輔)、兵部丞(花押)(弘中武長)	西郷藤左衛門尉殿		縦紙	1	
桧垣文庫 (中世史料) 254-8	氏家申状	明応8 6月15日	氏家(花押)	杉新左衛門尉殿 人々御中		継紙 二紙	1	大内氏奉行人(杉弘固、杉弘依、弘中武長)の裏書あり
桧垣文庫 (中世史料) 254-9	大内氏奉行人連署書下	大永4年2月30日	備中守(花押)(吉見弘頼)、兵庫助(花押)(杉興重)	西郷新三郎殿		縦紙	1	
桧垣文庫 (中世史料) 254-10	弘中興勝書状	霜月9日	興勝(花押)	西郷藤左衛門尉殿 御報		切紙	1	端裏切封墨引(切封帯欠)
桧垣文庫 (中世史料) 254-11	吉田正種書状	2月22日	正種(花押)	西郷殿内、伊田隼人佐殿、田平新左衛門尉殿、吉松助右衛門尉殿		縦紙	1	端に切封跡有り
桧垣文庫 (中世史料) 288-78	家種申状写	文明17年9月2日	家種半	飯田大炊助殿		継紙 二紙	1	
桧垣文庫 (中世史料) 352-14	戸次鑑連書状写	6月24日	鑑連在判	後藤外記殿		縦紙	1	端裏書有り
桧垣文庫 (中世史料) 382-13	郷土史料写真集	中世・近世				一紙	17	
桧垣文庫 (中世史料) 388-2	五條氏古文書輯録					縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 2-2	小河蔵之允咄覚書	慶応3年丁卯夏5月	石田又兵衛		末尾に「惟口〔時〕慶応三年丁卯夏五月下浣願石茂子之所蔵以横写焉石田又兵衛」とあり	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 2-15	筑前用談控	従万延2辛酉1月 至文久3癸亥極月			殿様(黒田長溥)の中將昇進一件、大坂登せ米代銀の件、藩主の参勤・滞在中の銀繰など福岡藩との用談についての記録	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 3-3	安永年中分限帳 上(写)	安永2年写				小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 3-5	秘書	(江戸期)			慶長5年からの本高書上、高・畝・分米高などの用語についての説明、宰府社領の田畠高書上、ほか覚書や集書、科料定、ヶ條書抜粋	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 6-5	[日記]	元治2年～慶応2年			元治2年1月より慶応2年3月までの個人の日記、作者は福岡藩士か、苗字は、文面より黒岩であると考えられ	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 7-10	宝暦改毛見	明和5年子11月3日	永田伊左衛門		表題は「秋免小業覚書」が妥当、奥書に「検見之次第至後年猥ニ為不相成書記、同役中披見無相違ニ付、郡役所江出置候也」とある、小項目を立て、検見法を詳	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 10-15	筑前国福岡御家中江被仰渡候書取写	嘉永7年寅12月	於博多掛町相部氏写之		御財用繰不容易につき、きたる卯年(安政2年)から三ヶ年間の欠略を行うという達しと、その内容につい	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 10-23	江藤審方年譜	安政6年己未～慶応3年丁卯			江藤審方の経歴と、幕末における福岡藩・幕府の動向について、審方35歳～43歳までの記録	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 15-14	福岡藩御触写	寛政1年12月17日～寛政5年8月30日	大目付		寛政1年12月17日～寛政5年8月30日迄の御触写	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 18-1	分限帳 地方	(江戸期)				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 18-10	[分限帳]	(江戸期)				縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 24-10	下座郡夜須郡御笠郡神社記	寛政9己6月	下座郡林田村組頭役内藤山城・夜須郡砥上村助勤大内田備前		各郡の神社における祭神・祭礼日・所在村を請持毎に記載	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 24-13	斎漙公嘉永建評	(江戸期) 7月17日	松平美濃守		嘉永期における対外関係について、斎漙の考えを簡条書きにしてまとめたもの	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 27-4	釜惣日記	文久元年	(瀬戸惣右衛門)		博多町人、瀬戸家(釜屋)の日記、生臘仕組に関する記述あり	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 30-14-1	本州紀事	(江戸期)	三木権太夫(秋月風土ニ依テ書)		武士の心得と政事に関する心がけについて、他に「香椎廟奉幣使記 全」・「安々洞秘録 連歌奉晋往復書」・「連歌屋江3月20日癸卯年ヨリ永代龍光院様御正忌日連歌百韻興行一件	書冊		30-14-1/3は合綴 目録なし
桧垣文庫 (近世筑前国) 30-14-2	香椎廟奉幣使記 全	延享2年以降				書冊	1	30-14-1/3は合綴
桧垣文庫 (近世筑前国) 30-14-3	安々洞秘録 連歌奉晋往復書	天明3年			連歌屋昌謙と加藤愚山の書簡	書冊	1	30-14-1/3は合綴
桧垣文庫 (近世筑前国) 33-11	[日記]	嘉永4年～慶応2年			藩主の事、幕末の情勢、藩内の動向に関する日記、藩士が書いたものか	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 35-12	[村高書上]				鞍手・遠賀・宗像・糟屋・席田・御笠・早良・那珂の八郡の石高・村名書上、ボールペンにより筆記、郷帳の写か、各郡毎にホッチキスで綴じられている	縦帳	8	海軍罫紙
桧垣文庫 (近世筑前国) 35-16-3	[書簡]	(江戸期)	角喜兵衛、山本由右衛門、佐野十左衛門	尊大人様	幕末の情勢、福岡藩・長州藩の事などに関する報告	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 38-2	郡町之者由来 (写)	享保17年8月5日	町奉行・岸田瀬兵衛			縦帳	1	天保11年1月写
桧垣文庫 (近世筑前国) 40-32	[覚]	(江戸期) 閏8月1日～15日			閏8月1日～15日迄の覚書、太宰府参詣や達書など	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 40-62	[覚]	慶長2年8月16日～同9月29日			朝鮮之役における頸鼻数、生捕人数の事	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 56-2	綱政公江侍中より之諫書 (写)	安政5年9月中旬写	侍中	斉藤中兵衛		縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 56-6	黒田家臣分限帳 (写)	文化10年9月写				縦帳	1	大正期の写
桧垣文庫 (近世筑前国) 57-3	黒田家士分限帳	万延元年6月				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 59-14-1	御達書 壱	(江戸期)	御財用方本	郡浦居住御家中銀主中	御借入金が104万6400両余りになり御財用繰りが差し支えている上に、異国船が渡来し不穏な情勢になっているので、どのように取り計らうべきか、その対策につ	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 60-2-1	忠之公御代慶安元戊子年従正月至六月	慶安元年1月～6月			長崎警備の記録	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 60-2-2	忠之公御代慶安元年戊子歳日記従七月至十二月	慶安元年7月～12月			長崎警備の記録	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 60-4	竈門山略縁起 安楽寺大講堂略縁起 武蔵薬師縁起 渡宋天満宮由来附伝衣塔 博多東林寺閻浮壇金一寸八歩観世音				各縁起・由来を一冊にまとめたもの、武蔵薬師縁起(内題は「湯薬師縁起」)は筆写、筆写年代は「宝暦十二年五月七日書写□」とある、他は版本	合綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 60-7	[記録]				郡方・浦方の算用記録、江戸中期の石高・その他を記すもの、朱印あり	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 60-10	敬白起請文前書之事	寛永8年10月20日	黒田美作守、同三左衛門	忠之	藩主に対する忠誠（前欠）	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 89-37	秘記 寺社御用帳	文政己卯年			寺社奉行の御用帳、日付毎に触・達・願等を記載、町奉行への渡し方等の処置を記す	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 90-72	後要目録 御郡方 一	宝暦8年～明和2年			宝暦8年～明和2年までの郡方への達をまとめて書き上げたもの	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 91-1	御達書口々写	(天保8年)			町郡浦奉行への達、村々百姓中への口達、大庄屋・村庄屋への達を写し取ったもの、また後半部は触や頭山傳の出郡の際の道割などが書き上げられている	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 91-2	御用諸控帳	天保8年1月10日			天保8年1月～12月迄の指出や覚について記載、遠賀郡修多羅村大庄屋の家に伝わったものか	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 91-3	御觸状写帳	安政5年戊午1月	保正 楠野太一郎		枯野焼、永納銀称誉、博奕制禁、雨乞・風止祈祷、修多羅村の黒田宮御普請の件、産子養育関係、御用會出席などについての触状の写、遠賀郡修多羅村大庄屋の家に伝わったものか	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 98-51	御直書寫	天保13壬寅8月下旬			家中逼迫に際し、元和の古法に基づいて風俗質素を旨とし、また長崎表手当もより嚴重にするように心力を尽くすべしとのこと、また「三左衛門殿ヨリ達寫」では、武事を常々心がけ、無用の費えなど出さぬようにし、土の本意を失わないよ	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 103-35	分限帳 切扶ノ部 (写)	(延享年中)	平賀小兵衛記載			小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 109-16	極秘書 (写)	元和8年9月 (嘉永元年7月写)	(黒田) 長政	右衛門佐、井上周防他4名	黒田長政の置文カ、石田郁写	竖帳	1	貴重
桧垣文庫 (近世筑前国) 115-20	[記録]				筑前六宿の定について、宝暦・明和期のものと考えられる、題箋剥離	竖帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 122-5	五龍日記 (写本)	(明和3年)	浮雲斎一瓢散人著		黒田光之・綱政の事	竖帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 125-9	諸用日記録	嘉永6年癸巳12月	福岡大工町年行司格次 萬屋(森田) 喜平次		長崎表非常 (ヲロシヤ船渡来) につき福岡より出立の役々の名元、及び長崎までの諸経費、日雇人数とその費用について、作者は黒田播磨の銀主となっており、非常の際「御用向出精相勤候」ことで播磨より端物や御料理頂戴を仰せ付けられ	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 130-6	斗八	(文化5年カ)			「文化元年香椎宮奉幣使聞書」「常憲院様御代犬木屋御造作之覚」「正保4年黒船長崎入津」「文化5年エケレス船同断」「佐賀侯江被仰渡之写」「享保10年福岡大火事」との目録あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 130-17	古今世話集				福岡藩諸事記録、年頭御礼・武家諸法度写等、「内野氏」とあり、虫損・付箋あり	竖帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 131-1	斎溥公家老中江御渡之御書付写	安政4年丁巳5月19日			当家の軍法は、久しく戦争がなかったために実地を踏まえた者がいない、他方、異国においては戦争が絶えず起こっているため、砲器に精通している、まずは西洋軍法を訓練させ、その上でよい所を用いて当家の軍法に加えることとしたいと			
桧垣文庫 (近世筑前国) 131-2	斎溥公江蘭法一条之御請書写	安政4年丁巳5月24日			西洋軍法の究理、軍法訓練、蘭法導入にあたっての注意点、また西洋軍法に改めるにしても軍器類の調達は今までの財用繰では苦しいので、なるべくこれまでの物も混ぜるようになる旨、他			
桧垣文庫 (近世筑前国) 131-3	[書簡]	(江戸期) 巳8月	郡奉行		中嶋の東西の橋と石堂橋の三ヶ所の掛け替え材木代銀の件について、材木は買い上げとした方が(木を)伐り出さなくてよいのではないかという旨			
桧垣文庫 (近世筑前国) 131-4	[書簡]	(江戸期) 巳9月			山方仕組の件は先だって申し出られた事だったので、今回の伺の趣旨は承知した、当年から七ヶ年の間は、試しとして仕組みを執			
桧垣文庫 (近世筑前国) 131-25	篤斎叢書	(江戸期)			立花道雪手簡附考、栗山利章墓誌、土岐義丸伝、高橋主膳手簡、静観亭之記、雷山之古金、仙崖堪元贈答之歌、榊氏の古文書(正和5、博多)、福岡城、原伊豫硯、長澤聞書、享保日記	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 134-13	筑前福岡松平美濃守御手船異國形日花丸檜野浦ニおひて難事取扱一件	文久3年亥5月	古座組 大庄屋役所		日花丸が檜野浦において船損にあった旨の報告と乗組の者、積入荷物、ほか添状などについて記載			
桧垣文庫 (近世筑前国) 135-1	御國中一統荒仕子風俗御舟方之覚(写)	文化14年丑ノ12月ニ写之	向佐野村大庄屋良七他	八田九内様他	「夜須御笠両郡大庄屋中乍恐奉伺覚(奉公人規定)」、手紙の案文などについて	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 135-6	[黒田長政書状]	(慶長期カ) 8月16日	(黒田) 長政	中嶋半六	石運搬	一紙	1	貴重
桧垣文庫 (近世筑前国) 135-45	万延二年辛酉日記	万延2年	菊池長秋		万延2年1月～文久3年12月までの日記、作者は鞍手郡在住の者か	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 139-5-1	御触状写	天保9年8月			郡奉行・町奉行・浦奉行などからの儉約・宗旨改・郡役所からの入用品納め、博奕禁止などの触状の写	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 139-5-2	修多羅村大庄屋太一郎仕上指出之事	(天保9年) 9月	修多羅村大庄屋太一郎	遠賀鞍手御郡御役所	おらんだ犬という御猟犬が2疋不用となって御指し下しになるので、私触下村々で望む者があれば、粮米1俵充て御指し下しになる旨を仰せ付けられたので調べたところ、望む者がいたので記しておく(年次は目録に拠	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 140-59	長州御追討小荷駄送り人馬割并諸手當心得書	元治1年甲子11月	古野惣太控		送り人馬の触ごとの割方、庄屋・組頭の対応と心得について	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 143-7	[御用留]	天保14年～慶応3年(目録には安政5年～慶応1年)			天保14年～慶応3年までの農村に関連する達や触を写したもの、遠賀郡修多羅村大庄屋に伝来したものか、遠賀郡修多羅村大庄屋松井久五郎の名が多く見られる	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 145-201	[覚]	寛永17年3月9日	高崎九郎兵衛、足立権太夫、原田六郎左衛門	金丸村庄屋・吉右衛門	田島52石公役御赦免の件	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 145-222	武谷氏招領口一絶	(江戸期カ)			漢詩カ			
桧垣文庫 (近世筑前国) 147-26-1	御一新二付御達書抜書	慶応4年7月			役所の引日や、農村より指し出すべき書上や帳面、願書、掛持庄屋の給米、臨時切立の件などの規定を詳細に記したもの	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 147-26-2	[御達書写]	(慶応4年) 5月25日	大庄屋 柴田八右衛門	庄屋 牛尾宗太殿、兵七殿	農兵に関する達書写、年代、日付、差出、所はこの達書写に拠る、また、農兵の規則などを記載した定も一緒に綴られている	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 147-26-3	御震翰之御写・御制札之御写	(慶応4年) 3月～4月			明治天皇の所信表明と制札掛場変更の事、及びその変更場所など	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 147-26-4	旅人并御国民取締方定書 金武村控	慶応4年4月			旅人改方仕法替により旅人の取締は郡浦取締方が受け持つこととなったことによる、旅人並びに国民取締方の諸規定の書上	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 147-44	[異船渡来差向人数村々知行高割]	(安政期) 5月16日	松山利左衛門他4名		異船渡来の非常時につき差向人数の村々知行高割について、村々の差向人数の書上あり	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 149-16	福岡御領中虫附就損毛追々御届其外書付等之控	享保17年				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 149-22	[蔵書目録]	(江戸期カ)			某氏の蔵書と冊数の書上			
桧垣文庫 (近世筑前国) 156-2	御笠郡山田村御免用井手川入用諸品軸帳	文政3年辰2月	山田村庄屋茂市(印)・同村組頭和吉(印)・同貞次(印)・同正次郎(印)	那珂席田夜須御笠御郡代御役所	当村席田郡金隈両村催合隔年堰4ヶ所、大川筋水当り列10ヶ所入用品目書上、表紙に「向佐野触」とあり	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 156-43	[扶持米・切米明細規定]				扶持米・切米の明細規定、史料の裏にも記述がある、江戸中期のもの	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 156-45	宝暦十二歳ヨリ明和八歳卯九月迄郡方ニ掛ル御書出シ写	宝暦12年～明和8年9月			宝暦12年から明和8年までの御書出の写で、総目録(全部で82項目)のうちの「捨子御制禁之事」・「窮民養育之事」・「風留祈禱上被仰付候事」・「御獵一件ニ付万御掟」を記載する、表紙右前に「壺」とあり	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 158-20	[覚]	(江戸後期)			秘かに会合を行い、御政務筋を妨げようとする者達がいると聞く、そのために有志の面々が疑惑を生じているとのこと			
桧垣文庫 (近世筑前国) 158-22	[覚]	(宝暦・明和頃)			家老中の勤方の心得を記した覚書			
桧垣文庫 (近世筑前国) 158-29	天保十三年壬寅八月卅御政道御改正御直達□□意御軍備御改等之御達し	天保13年8月			天保13年8月からの、藩の政務・軍事などに関する達についての書上			
桧垣文庫 (近世筑前国) 158-30	[郡方覚]	天保8酉年2月写之	富田蔵 (印)		郡方各役職についての記録、途中に「右一章津田源次郎広一天明中被献公朝之」とある、年代・作者は末尾に記載、朱点あり	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 159-2	元治元甲子日記	文久4(元治1)年1月~12月	高原謙次郎良直		幕末期の日記、生野の変をはじめとする天誅組関係記事、中村圓太に関する記述あり			
桧垣文庫 (近世筑前国) 159-7	郡方覚書	寛政8年辰10月写			明和期各郡の財用書上、「此冊ハ先年郡奉行津田源次郎編輯致置□於御用部屋写之」と冒頭にあり、朱書で訂正、朱書あり、虫損著	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 159-10-1	敬白天罰靈社上巻起請文之事	寛永8年4月19日	黒田三左衛門	(黒田) 忠之		一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 159-10-2	[黒田三左衛門起請文]	慶安元年8月5日	黒田三左衛門		(前書欠)	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 160-29-1	嘉永二己酉年十二月二十九日大御目付衆ヨリ之御廻状安部伊勢守様・松平伊賀守様御渡御書付写	嘉永2年12月			異国船が渡来した際の対応については、嚴重に取り計らうべき事、また「口達之覚」では沿海の警衛について言及する、			
桧垣文庫 (近世筑前国) 160-29-2	[藩政記録]	(天保~嘉永期)			天保から嘉永期にかけての大老黒田播磨一整が記述したと思われる日記(「殿中日記」)を綴ったものカ			

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 160-32	関ヶ原始末記 (写)	天保6年孟春写	永田伊左衛門		関ヶ原の役前後の経緯と各大名の国割などについて記載、	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 161-7-1	[博多譜]	(江戸期)			博多町名・神社・仏閣等、他誌の写本カ、御家譜、続風土記、早鑑、石城志、土産等見当次第書入置くべしと末尾にあり、161-7-2と合	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 161-7-2	覇家臺譜未	(江戸期)			博多の寺院の開基・由来等について書かれたもの、161-7-1と合綴されている	横帳 (合綴)	1	虫損あり
桧垣文庫 (近世筑前国) 162-7	養育御仕法立一件 全	寛政9年～文化9年	高原謙治郎 (付箋)		「寛政九年巳四月奉伺覚」等の覚を記した「養育一件秘上」を納める、「高原謙次郎」の朱印あり、付箋あり	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 162-8	御判物高・御書上新田高御郡帳高引合吟味仕記録	宝暦9年己卯5月	永田伊左衛門		御判物高・御書上高を、郡帳高と照らし合わせて調べ書き上げたもの、調査に用いた郡帳の書上や各郡各村の田高書上あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 162-9-1	福府秘用録 上	元禄8年～享保20年				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 162-9-2	福府秘用録 中	元禄8年～享保20年				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 162-9-3	福府秘用録 下	元禄8年～享保20年				縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 163-7	[触状写]				延寿王院の公式日記か、月日毎に触状写あり、本来は縦帳形式であったと思われる	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 163-25	岡見山雲水瓶御祈禱記	天保5甲午歳7月	執行坊・上座坊		執行坊・上座坊・延寿王院等による岡見山雲の水瓶祈禱の筆記、朱書あり	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 163-26	仕組講帳之写	天保7申年	執行坊		「宝寿坊無住ニ付世帯方難相立候間今般延寿王院殿御発起之名目ニ而講相催」とあり	豎帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 164-45-1	切もぐさ	(江戸期)	筑前太宰府真製御切艾所他		切りもぐさとその包紙	切艾	5	
桧垣文庫 (近世筑前国) 164-45-2	[清正公御洗米]	(江戸期)	大長寺		洗米が入っていたものか、ほか「神効丸」との記載もある	米	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 165-9	御領海急速御人数心得 上下	安政2年〇月			異国船渡来の際の心得と出張の際の規定について	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 166-7	御觸状写帳	天保10年己亥1月11日			殿様(黒田長濶)の参勤・帰国、寸志銀・永納銀差出の件、産子養育一件、虫気払いの祈祷、米穀津留、郡奉行廻郡などの触を写したものの、遠賀郡のものカ	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 167-1	大坂表借入銀根帳	文政5年午12月			大坂表借入銀高書上、大坂表年々返済控などについて記載	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 170-30	[記録]	天保7年～嘉永3年			出水破損につき仕戻し夫の差し出し、酒造は3分の1に減ずること、大坂市中に放火した者(大塩平八郎)の手配書、博奕禁止、年貢上納、御家中借財道付方などの違書について	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-6	天保七年御加増知分御笠郡吉松村田畠名寄帳	天保7年申11月	吉松村組頭恵吉(印)・新蔵(印)・同村庄屋半左衛門(印)	加藤三郎左衛門様	田方・畠方の広さ・石高等を書き記したもの、「立明寺村庄屋善七(印)」の奥書あり、表紙・裏表紙に割印あり	豎帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-7	天保七年御加増知分御笠郡吉松村百姓軒附帳	天保7年申11月	吉松村組頭恵吉(印)・新蔵(印)・同村庄屋半左衛門(印)	加藤三郎左衛門様	「立明寺村大庄屋善七(印)」との奥書あり、訂正印2ヶ所あり、表紙・裏表紙に割印あり	豎帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-21	[大目附支配諸覚]	(文久2年)				小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-22	[日記]	慶応4年2月～閏4月	(加藤三郎左衛門カ)		慶応4年2月～閏4月までの、加藤三郎左衛門の上京に関する日記か、	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-23	[日記]	慶応3年～慶応4年	(加藤三郎左衛門カ)		慶応3年～4年の、加藤三郎左衛門の日記カ、諸役に関する記事が多い	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-38	元享間雑記上 従元禄八年至享保四年凡二十五年	(享保期以降)				横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-39	元享間雑記下 従享保五年至同二十年凡十六年	(享保期以降)				横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-40	元享間雑記追加 寛永六ヨリ享保廿年迄／享宝間雑記 自寶永六至宝暦十年	(宝暦期以降)			「追加」については「本書年号入交処々ニ記有之候ヲ来拾ひ此処ニ相記」とあり	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 171-43	覚書 乾	元禄8年～正徳5年				横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 173-10	[記録] (写)	文政5壬午8月 写	六郎良教 八代保正吉田六郎良光、同人伯父文平光重六十歳写之		「老 大庄屋以下」等26項目について書かれたもの、朱筆あり、宝暦12年～安永2年までに出された諸々の達を写したもの、生活や風俗取締など多岐にわたる	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 173-24	〔記録〕(福岡藩諸記録、明和・宝暦期覚他)	(明和・宝暦期)			明和・宝暦・元禄期他の福岡藩の諸記録、朱書あり、江戸・大阪への往来、福岡藩藩主の親類関係の享年など様々な記録、大坂御蔵戸前数の覚、急飛脚日割定、家臣団への諸規定、また黒田家の系譜、歴代藩主(7代治之まで)の家族、九代斎隆までの戒名と菩提所についての書上など	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 173-25	長政公御遺書	元和8年9月	(黒田)長政	井上周防、小河内蔵丞、黒田美作、桐山丹波、栗山大膳		縦帳	1	貴重
桧垣文庫 (近世筑前国) 180-114	〔記録〕	(江戸期)			日記と享保18年の田島下作米の高、紐等で綴ったとみられる、穴はあるが、紐はなし	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 184-1-1	維新雑誌 卷之壱、二	文久3年～元治2年(慶応1年)	臨缸亭酔月居士		幕末・維新期の情勢を記したもの			
桧垣文庫 (近世筑前国) 184-1-2	維新雑誌 卷之参～六、七～九、十～十四	慶応2丙寅年～明治4年	臨缸亭酔月居士		幕末～明治初期の情勢を記したもの			
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-6	旅人入判願一件控	文化13年子1月			他国より入り込みの日雇の入判願い、他国出願、宗門弘証拠について記載、御笠郡山田村のものか	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-14	文政三年分拙者知行御笠郡何村田島物成米大豆請取申事	文政3年			米大豆請取、御年貢米上納通帳の案文	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-33	上座郡宝珠山村へ居住仕度と申入人指出之事	延宝4年2月21日	庄屋・善兵衛、頭百姓・助左衛門	中沢弥右衛門、下村藤兵衛		一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-43	御笠郡山田村庄屋組頭御願申上ル事	文化13年2月	山田村庄屋茂市、同村組頭和吉、同貞次、同正次郎	八田九内様御役所	肥前国鳴原北有間村作次ほか6人の入判願	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-69	[書状]	2月11日	小野加賀	清太夫殿他15名	名の各名の右傍に線引、九百廿五年御神忌大祓興行に付、明12日夕拙者宅にて祓読合のため御来集のこと	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 188-70	[書状]	3月19日昼過	能勢恵三	加州公	講金請受の件、清右衛門を残し、召置いているので、満盛院御隠居咄合之上、定て御渡の由	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 212-26	太宰府社家書上				大鳥居等の社家の名前を列記したもの	小横 帳	1	虫損あり
桧垣文庫 (近世筑前国) 212-29-1	系略	(江戸期)			小野家の系図			
桧垣文庫 (近世筑前国) 212-29-2	[覚]	(江戸期)			忠平、師輔、兼家の生没年、法名などの書上			
桧垣文庫 (近世筑前国) 212-29-3	[覚]	(江戸期)			大友・立花家より小野家への給知高の書上			
桧垣文庫 (近世筑前国) 212-29-4	[覚]	(江戸期)			「宋麟」「統虎」などの記述あり、詳細は不明、裏に小野家の系図あり			
桧垣文庫 (近世筑前国) 220-2	御用帳書抜 雑寺社之部	正保2乙酉年～正徳5乙未年			寺社に関する事項（建物破損のため修復したき旨の願、遊行上人来博の件、悪病流行を鎮めるための開帳）などの雑記	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 221-3	鶏卵生臘仕組引御笠郡夫錢元銀調達元銀調達并日田融通購入仕戻一件	天保12年4月			御茶屋普請・免用諸普請等の出夫で郡中が零落しているので、夫救仕組を立て、仕組銀を備え、その利銀を貸し渡すようにしたが、そののち備えが立てがたくなったので、天保2年より惣郡仕組講を立てる事とした旨と、その後の経緯について、虫損の状態から、一度作成された後、台紙に貼ら	竖帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-40	[覚]	天保5年1月	白水要左衛門、 花房傳左衛門	久野外記殿	白水養禎(要左衛門)の存寄書の一部、久野外記より正太夫への御用状留の一部、押米緩和などについて	一紙	7	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-41	永納銀差出候者共御賞誉頭書	天保5年11月3日			永納銀差出による町郡浦の者への賞誉の格付けについて	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-42	御家中一統江戸定詰末々迄段取 拝領金凡積 但寺社領共	(天保5年)			御家中で江戸詰の面々の拝領金 $\times$ 1万4889両の内訳、端裏書に「天保5年拝領金割付」とあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-43	[覚]	(天保5年)			(加藤)三郎左衛門よりの書面の内、増登米の件などについての書拔、「天保6年5月14日此箱ニ入置当時入用無之候得共追而見合ニ可相成分」との断簡あり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-44	[書簡]	(江戸期)7月19日	若松庄屋 松井一内(印)	大庄屋 太一郎様	糶困代銭野田屋外右衛門預り手形一件につき、当村請取分仕方相済分御聞置のこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-45	[書簡]	(江戸期)7月19日	大庄屋手伝 佐藤傳三郎(印)、大庄屋松井仁十郎(印)	大庄屋 太一郎様	野田屋切手不景気になり、とても通用する模様ではないので、触内の糶困米代仕方が済まないとのこと、また、正金両替止の件は、模様が分かればお知らせいた	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-46-1	[書簡]	天保13年7月20日	大庄屋仰木三兵衛、大庄屋有吉与左衛門	大庄屋 太一郎様	野田屋手形一件 46-1/3一綴	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-46-2	[書簡]	(江戸期)7月19日	大庄屋仰木三兵衛(花押)、大庄屋有吉与左衛門(花押)	大庄屋松井仁十郎様、大庄屋佐藤傳三郎様	御会所の都合、御役所の模様など御知らせ下さるようにとのこと、「野田屋切手混雑扱も困り入」とあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-46-3	[書簡]	(江戸期)7月19日	大庄屋仰木三兵衛(印)	大庄屋太一郎様	野田屋切手が融通せず、村々では大いに難渋している、貴触ではどのように取り計らっているか、御模様を御知らせ下さいませよう	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 224-47	[奥書(断簡)]	(江戸期) 同年7月	修多羅村大庄屋 太一郎	林八太夫様、野 田惣蔵様	触下村々庄屋中よりの願書 についての大庄屋の奥書	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 233-38	口上之覚	延宝元年11月28日			京銀御借の一件について他	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 233-60	分限帳(写)	文化13年3月 (写)				小横 帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 236-7	御預郡之覚・諸士知行高居宅所 付・御暇被下之面々名附・諸役 人地旅行当之覚・御目見医師・ 文化十一年宰府天満宮社家名 元・文化九年美礼石名付・御切 扶知行高直シ	安永9年子4月写 し・享和2戌年9月 写し			諸士知行高居宅所付は安永9 年子4月写し、御暇被下之 面々名附は享保6明和5迄 で享和2戌年9月写し、御目 見医師は「右同断」とあり	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 237-13	[大目付江通達写]	(元治～慶応期)			抹消線あり	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 237-25	[覚] (寺社領・百姓御扶助・ 諸国当社町人御扶助・諸役人地 旅当・御切扶知行高直・田畑三 ツ三步所務所当・御礼順・御預 郡)	文化～天保期			分限帳の写カ、当(役料 米)の書上や取留(家臣へ の給付米や控除米などの内 訳)を書き上げたものを含 む	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14- 1-1	[書簡]	(文久2年カ) 10 月22日	山城増熊(花 押)	播磨様、讃岐様	滞京中の立花増熊より国元 の黒田播磨・小河讃岐への 書簡、参勤途中の藩主斎溥 の滞京についての諸事情、 関白様、二条様との面会な どについて記す、その他、 大坂銀談の件など、整理番 号238-14-1は全て同一の包 紙に含まれる、包紙上書の 筆跡は天保期の三奈木黒田 家当主、黒田播磨清定のも のと思われる、よって包紙 と中身の年代は一致しない	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-1-1-1	[覚]	(文久2年カ)			参勤交代及びそれに伴う諸経費の書上	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-1-1-2	御内披	(文久2年カ) 10月22日			牧市内、京都から中帰りの件について、また、京都における情勢・諸事情について	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-1-1-3	[書簡]	(文久2年カ) 10月23日	[立花増熊カ]		京都における、関白様・二条様との面会・折衝の件について、また、滞京中の斎漣とその周辺の事情について	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-1-2	[書簡] (写)	(文久3年) 10月21日	松 美濃守	水 和泉守様	藩主斎漣から老中水野忠精への書簡、公武合体、将軍上洛、朝廷周旋など当時の情勢に関する意見を述べたもの、端裏に「文久3年10月中将様弼水野様江之御再答写」とあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-2	[達] (写)	(文久3年8月23日)			家中への達写、皇国存亡の時機にあたり、尊王攘夷の意志を確乎として示すために、侍従様が上京し、公武周旋を行うとのこと、端裏に「文久3年8月23日於御本丸諸士中江達写」とあり、	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-3-1	[覚]	(元治1甲子年) 7月			長州へ異国船が襲来した際の、異国船に対する福岡藩の対応策についての覚、238-14-3は同一封紙に含まれる、封紙上書「元治1甲子年7月4日長州襲来覚之船長崎江乗向ヶ候節御取計振見込相立候一件之演舌覚式通	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-3-2	[覚]	(元治1年) 7月6日			長州へ異国船襲来の際の、福岡藩の対応に関連する件	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-4	宰相様御直書写	(元治1年) 子9月 20日			攘夷激派が(筑前の)国風を嫌って長州風を好んでおり、そのような者が役職に就いていれば一日も早く放逐すべき旨	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-5	[書簡]	元治2年3月4日		少将様	今の時勢に上下一和して家中の人心を一致して当たるように、また、過激派の中にも心得方をわきまえた者もいるので、登用してはどうか、隣国とは親睦を固めておいた方がよい、なかでも薩摩と肥後などの大藩とは特にそうだが、薩摩の意図は測りがたく、油断なさらぬように駆け引きでもつ	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-6-1	[書簡]	(江戸期) 7月27 日	黒田播磨	韶翁様、侍者御中	先日差し上げた駒鳥と去年差し上げた鶯を(韶翁様がお飼いにしている旨を詳しくお書きになられており、ありがたく思います	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-6-2	[書簡]	(幕末期) 27日			中将様より御直書を下され、内容は承ったが承諾はできかねるので、ついでによりしく申しておいてほしいとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-6-3	[書簡] (雛形)	(江戸期)		楽山様、侍者御中	松茸拝領の礼状の雛形と用紙の規定などについて	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-7	[存寄書]	(江戸期) 2月			我々はこれ以後勤め向きに出精し、(藩主を)補佐して差しはまって勤めていくよう(家老)同席中で一致したとの旨、包紙上書「勿2月8日達御聴置之書取控」と	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-8	[書簡]	(江戸期) 12月27 日	山城(花押)	播磨様	侍従様(斎漣)の大坂での動向について	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-9	[書簡] (写)	(幕末期) 8月1日	立花山城		侍従様の公武和合御周旋の件で、私も御供を仰せ付けられたが、国内では周旋に疑いを抱く輩もあり、人心が安定していないため、安定のため御供を断って残りたいが、決断しかねるので御教示下さいますようにとのこと、端裏書に「城州存	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-10	[書簡] (写)	(幕末期) 12月15日	播磨(裏判)	山城様	侍従様の公武御和合の御周旋ぶりは逐一承知しております、早く將軍様が御上洛されて公武御和合が整うように周旋していただきたいと、それのみを祈願しておりますとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 238-14-11	[書簡]	(江戸期)			御財用繰り方について、今の内に心を寄せ、国のためによろしきように工夫なされれば、末はそれが利益となるであろうとの存念書	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 241-46	[絵]	(江戸期)			「観世音寺什物羅陵王假面」「長一尺三寸西金箔頭極彩色腮黒塗」とあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 246-39	氏族覚書 全	明暦2年申8月～文化9年壬申12月			立花家の記録	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 246-40	御触写 第二	安政5年午9月卅	大目付		流行病の防止法、皆済証拠指出、旅人宗旨吟味の締り方、御家中拝借石炭上納の期限、参勤達、乾龍院様13回忌の御法事、侍従様御台場御順覧、中将様天盃頂戴など公儀からの達しを含め	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 247-3	[覚]	享保20・元文5・寛保3・延享4・宝暦13・明和8・安永9年			春巡見使のため妻木氏止宿、享保の大火の状況、疫病流行など、多くが火災や大風、洪水の被害について	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 249-55	[覚]	(江戸期) 7月・10月			大坂借銀返済道付などについて	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 249-56	[日記]	宝暦14年10月～明和1年6月	吉田久兵衛		吉田久兵衛の日記カ	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 249-56(丁間文書)	[存寄書]	(明和期頃カ)			御会席の節においては、ふだん何うような御用筋はまず除き、ふだんなかなか申し上げにくい用件や家老中の勤方、御次(の間)での有り様など(藩主の)耳目に届きにくい事を申し上げます、お聞きになってもらうようにしていただきたいと	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 249-57	[覚]	(明和元年) 閏12月	吉田久兵衛		家中渡世方取締について教示すべきこと、借銀をしてしまう原因は身分不相応の物いりのためであるから、儉約すべきこと、風俗を改めるべきことなどを記す	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 252-59	[覚]	(明和元年) 閏12月	吉田久兵衛		吉田久兵衛による改革の存念書、借銀片付の仕法を立て、自力で渡世し難い者には蟄居させるなど、不勝手は恥ずかしいものであると諸人が思うようにしなければならぬ旨、また家中の儉約が守られているか穿鑿するために、横目役を二人ずつほど立てるべき旨などを	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 254-61	大島鯨之願	延宝元年12月25日	大島浦・四宮傳左衛門	大野忠右衛門、山本八郎左衛門	鯨組預りの返上に関する一件	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 257-26	日記 地	万延1申年			万延1年11月・12月の日記、家老の筆によるものカ	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 257-29	[日記]	文久4甲子年			水損につき開封不能のため、詳細は不明	小横帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 258-25	享和三年分限帳、文化元年分限帳、追加文化十五年記之	享和3年、文化元年、文化15年			享和3年の分限帳、文化15年に追加	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 260-21	自寶暦四戌年至明和七庚寅年奥山戸右衛門覚書	宝暦4年～明和7年			宝暦4年～明和7年までの雑記書上、ほか挿入文書として暦表あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-7	文政七甲申年覚書	文政7年	重遠		文政7年の諸事覚書	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-9	寛政十二年庚申日記	寛政12年1月～12月			寛政12年の日記、福岡藩士のものか	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-10	[覚] (写)	文政2年			日付毎に触状を写す、朱書あり、前部は破損甚し、裏にも記述があり、「文化三寅三月書送帳」とあり、松平上総之助の死去、参勤につき財用繰が指し問えていること、人相書、(藩主の)後濱御見分、他に隠居	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-11	[覚]	寛政6年～文化13年			長崎・諏訪社、その他藩内の多数の種々の記録、朱書あり、史料の裏にも記述あり、身退願、宗旨判形見届の件、御両殿様御法事、柳原屋敷の図面など諸々の覚、御用筋に関する事が多	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-12	[覚]	江戸期(寛政7年力)			捨子・人相書、その他の種々の雑記録、朱書あり、朱筆で「明和」とあり、産子捨の停止、火用心の件、御家督御祝儀御料理頂戴の件、御尋者の手配書、御館御普請場作事木屋から出火の件、敬徳院様御一周忌御法事の件などの達を含んだ	長帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-13-1	天保四癸巳覚書	天保4年	(永嶋十左衛門力)		天保4年正月元日から12月29日までの覚をまとめたもの、猪打払いの件、山笠の番付、大坂・堺・兵庫の両種物の買い受けについて、少将様・侍従様の様子、義倉講御仕組銀拝借の件、侍従様蘭船御覧、長崎警備に	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-13-2	[覚]	天保5甲午年正月24日～天保6乙未年閏7月17日	兵右衛門、鉄次郎		天保5～6年の覚を記したものの、「唐鑑」5部学問所へ拝借、「史記」2部学問所へ渡す、ほか書物の受け渡しについての覚	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-14	文政六癸未年覚書	文政6癸未年	(宮内十兵衛力)		文政6年正月～12月の男子出生、その他に関する覚を日毎に記したもの、朱筆あり、宗旨判形見届、人相書、鳥飼宮参詣、病中見舞、菅市太夫婚姻の件、隠居願、人馬賃銭・船賃共割増の件、山笠番付、殿様・若殿様の様子など諸々の覚	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-15	文政九年丙戌年覚書	文政9年	(宮内十兵衛力)		文政9年正月～12月の年頭御礼や当年11・15・70・80・90歳となる者の人数報告の要請等の覚を記したもの、朱筆あり、虫損・水損あり、異国船渡来につき打払の件、屑焚石旅出売の件、見舞品々の書上、拝借塩硝割出差出の控、祇園祭礼山笠番付、組合寄合、砲術稽古、勇善院33回忌、拝借願	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 261-16	起癸巳二年至辛丑十年四月十三日改元天明・安永年中御触状之写	安永2年～安永10(天明元)年			「安永三年甲午触状写」等の写を筆録したもの、虫損・水損あり、宗旨判形見届、博奕禁止、火用心入念の件、田安様御逝去につき作事・音楽停止、諸士中拝借銀返済の件、少将様御逝去、功崇院様3回忌御法事、儉約の件、侍従様御参勤、御財用繰り差支など諸々の	横帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 262-1	[覚]	文政13年			文政13年の「於大書院旧御昇進被遊」等の覚を記したもの、朱筆あり、虫損あり、切支丹宗門禁止、金銀式朱判通用停止、砲術御上覧御延引、山笠見物、疱瘡後の差し支えのない食物書上、宗旨改、御切米差出など諸々の覚書	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 262-2	文政二年卯八月 御笠郡瓦田村抱御獵橋并那珂席田夜須三笠四郡村々冬免用材木挽立大鋸夫掛帳	文政2年卯8月			御笠郡瓦田村の御獵橋の材木発注や賃銭等を書き記したもの、虫損あり、御免用材木の本数、大きさ、大鋸夫の人数と賃銭の村毎の書	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 262-3	御触写	享和2年～文化2年			表紙と1項目目が破断しているため、表題及び最初の内容は不明、享和2年～文化2年の御触書の写、朱筆・虫損あり、火用心の儀、宗旨判形見届、富札停止、水野出羽守御卒去につき鳴物停止、儉約の儀、東海道・中山道人馬賃銭増の儀、高樹院様150回御忌御法事の儀、年貢米大豆納の儀、奉幣使御領内入り込みにつき鉄砲御停止など諸々の御触写	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 262-4	寛政十三年春三月八〇〇日記	寛政13年(享和1年)	(菅兵右衛門力)		寛政12～13年2月迄の日記、1頁目破断、朱筆・虫損あり、菅兵右衛門の日記か、本の貸借や寺社参詣についての記述が多い、ほかに山笠番付、相撲番付など	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 262-5	文政八乙酉年覚書	文政8乙酉年			年頭御祝儀の人名等を記したもの、虫損あり、文政8年1月分の覚書、御殿様～年頭御祝儀、寺社参詣、火用心の件、高浜勘右衛門死去、年頭祝儀に罷り越した面々	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 266-21	御意并拝領物留書	宝暦12年～13年			福岡藩家老吉田久兵衛の記録、後欠	長帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 266-22	明和六丑年一月卅御意拝領物覚	明和6年～明和7年			明和6年1月～明和7年4月までの拝領物の覚など	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 276-32	エンフェールト筒渡根帳 三冊之内御用所	(幕末期) 寅2月			エンフェールト筒の購入本数とその代金、払方は二ヶ年賦と三ヶ年賦がある、ほか所持者の書上あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 278-50	[書簡]	(江戸期) 9月10日	森六蔵	延寿王院	延寿王院で預かっている豪潮という僧を、高島伝八方へ召し連れて引き渡すようにとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 284-14	嘉麻郡山野村長介名子作右衛門并女房子供召つれ正月廿七日ニ走り申ニ付方々相尋申候へ共尋出シ不申候条申上ル事	延宝4年2月11日	山野村庄屋・忠右衛門他1名	久野十右衛門他1名		一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 290-38	借用申米之事	寛文13年正月11日	観世音寺村・久兵衛	くわいちうか		一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 290-74	[覚]	慶長19年12月4日	大鳥居八郎左衛門	満盛院快欽	賃米割符之内2月～翌正月分相済候	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 291-35	壹反知行延宝元年卅貞享式年迄村々物成ヲ以平均新高目録	貞享3年8月2日	宮内十郎右衛門、村山角左衛門	吉田七左衛門殿	1反知行の、延寶1年～貞享2年までの村々の物成をもって平均した新高目録、御笠郡若江村他7村における新田高、包紙あり	一紙 四枚 継	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 292-4	日紀 四・五	元治2年丑1月～慶応2年12月	高原謙次郎		幕末期の日記、天狗党の動向、幕府による長州征討、乙丑の獄の顛末などについて記述	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 292-5	日紀 六・七・八	慶応3年1月～明治2年12月	高原謙次郎		幕末期の日記、兵庫開港、五卿関係記事、京都伏見における幕府軍と薩摩藩との戦いの顛末、江戸城明け渡し、朝政御一新などについて	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 301-97	[吉田久兵衛覚見書]	(江戸期) 閏12月	吉田久兵衛		御家中の面々で、不如意で他国の米銀を借用している輩がいるが、その返済方法について、また役人の心構えなどについての上申書	巻紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 301-100	文久二年戊三月写 御仕組所御記録写	文久2年2月			紙御仕組の発端からその経緯について	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 301-107	霊社起請文前書	宝暦10年7月13日	野村太郎兵衛、 吉田式部ほか7名		御財用が年来御不足で年を追うごとにいよいよ差し支えて御国政も危難の時節である、これまで通り家老職を立てては(時局に)乗り切れないので、今度当職を止めて御政事・御勝手方共に家老中惣請持に仰せ付けられ、諸御用を遅滞なく済ませるようにあるべきなのではないかということ	切紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 306-107	元治元年甲子五月刊要抜	元治1年5月3日～ 慶応2年12月	加藤増之丞、御 無足頭	大目附江	幕末の情勢(異国船の長州砲撃、長州征伐、五卿落ち、将軍家茂の死去、エンヒュールト筒購入など)や公儀からの達し、藩からの達し、藩内の情勢について	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 307-91	[御定書]	文化13年3月	八田九内	御笠郡山家村大庄屋久七、同触村々庄屋中、組頭中、惣百姓中	拝借米銀錢返納の件、儉約定、御年貢米上納の件、博奕禁止、ほか日々の生活の定について	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 317-88	筑前名所図絵	(江戸期)			御笠郡の歴史について、一枚の絵図あり	端紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 322-48-1	[神社寄附高書上]	(文化14年頃)			宇美神社、香椎神社、桜井神社、多賀神社、猫城八幡宮、竈門山神社、住吉神社、志登神社、高倉神社、名嶋弁財天、東照宮雷神社、染井神社、愛宕神社ほか5社の御寄附・御加増高の	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 322-64	天保八年西十二月 御仕組銀拝借引当余米田数書上帳	天保8年西12月	山家村 山田勘 右衛門	那珂席田夜須御笠御郡御役所	田数・石高の書上	縦帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 325-32	宗湛日記(写)	(江戸期)	(神屋宗湛)		天正14年春～慶長4年3月までの日記、大坂城における茶会や、秀吉による博多町割の指示などの記事がみら	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 327-9	御改革革命令	天保丙丑(12年)、同壬寅(13年)			水野越前守忠邦からの大名への申し渡しの書付や、幕臣による改革の達の書付を集めたもの、おもに風俗統制に付いてのものが多	書冊	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 328-5	諸土中分限帳	幕末期			福岡藩士の分限帳、イロハ順に記す	横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 329-45	六座目録	(近世初期)			六座(米屋・金屋・小間物屋・阿ハ物屋・紺屋・鍛冶屋)の黒田如水への謁見のことと、それぞれの家系の目録、1枚目欄外に「座ノ文書、太宰府山内興隆氏蔵」と記載あり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 331-24	遠賀郡有毛村庄屋弥七郎申上ル口上覚	延宝3年4月24日	有毛村庄屋・弥七郎他2名	花房源右衛門	盗人ニ付一件	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 331-26	遠賀郡海士住村庄屋与七郎申上ル口上覚	延宝3年4月23日	海士住村庄屋・与七郎	花房源右衛門	有毛村はつ盗人ニ入一件	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-36	[書簡]	(明治期カ)	高木	立石様	別紙書入証を持たせるので、然るべくお取り計らいいただきたい、私が出向いて貴意を伺いたいが、事務繁雑のためにそれもできない、よろしきように御霍声をお祈りしておりますとの			
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-37	寛延四年 御社領定目控帳 大宮司社家中(写)	子(天保11年カ)ノ4月	寺社役所		社領所務米割、大豆割、天保10年秋三步一所務減を仰せ付けられた分の割について	長帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-38	口上之覚	天保15年辰3月4日		寺社奉行尾江四郎左衛門様、月成守様	田嶋村庄屋より去る正月、私手元へ引き合いがあり、当村では高10石につき1人の面役があり、また高1石につき高米として5升を取り立て、面役の者へ渡しているが、社家中の抱田地の分も同様であるのか、という事なので何卒糺していただき	長帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-39	口上之覚	弘化4年末ノ3月8日認	社家中	深田兵部太輔様	御社領は今まで高役が免除となっていたが、去る辰年(天保15年)に村方から願い出があり、他と同様に高役が掛けられるようになり、高1石につき5升の高米を出さなければならなくなった、そのため免除を願い出たが、役所にて出された達の趣は、田地は村方へ上納して所務目録でもって村方から渡すようにとのことであった、この度因幡から出された横折書には、今回の社領失地が我々の身勝手ゆえの事と申しているがそうではない、これに対してはよろしいように糺して	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-40	宗像郡田嶋村庄屋組頭中乍恐奉願口上之覚	天保15年卯2月	宗像郡田嶋村組頭嘉藤次、勘次郎、和平、順助、同村庄屋永次郎	両粕屋宗像御郡代御役所	当村社方はこれまで村方判元にあつたが、それが大宮司判元となり、村の面役が追々減っていき村方が難渋している、当村の社方は良い田畠を抱え、面役も勤めず、普請等も村方だけで行い、社方は公役を免除されており、村方は難渋するではないか、他2件、また宗像郡田嶋村大庄屋立花五八郎より左藤五助様、伊丹又兵	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-41	奉願口上之覚	(江戸期) 閏4月3日			以前豊福因幡守より願い出していた貴船屋敷の一件で、因幡正が申すには、貴船屋敷は受け取ってもよいが、弥陀屋敷は渡さないとのこ	綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-42	口上之覚	(江戸期) 未3月	社家惣代月並清記、池浦伊勢正	深田兵部太輔様	この度因幡正が横折書で申し出た、御社領の田畠を私どもが身勝手に扱っているため、自分銘地にしてほしいという願い出は間違っているの、よろしくお糺し下さいますようにとのこと	綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-85-1	[覚]	(江戸期)			天満宮縁起について			
桧垣文庫 (近世筑前国) 333-85-2	[覚]	(江戸期)			京都伊勢田神社の縁起と道程について			
桧垣文庫 (近世筑前国) 334-43	[書簡包紙]	(江戸期)	京都 藤井宮内	黒田播磨様、矢野相模様	上書に「要用御親展」とあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 336-35	[年賦米受取証五枚綴]	慶応2年2月～(明治3年)午2月	須恵村庄屋第右衛門他	木下丈兵衛様、木下七郎様	年賦米受取証を綴ったもの	一紙綴	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 336-71	年賦米指引控	慶応1丑年12月	須恵村庄屋第右衛門		借用した米20俵(元利共)を当年より戌年迄10ヶ年賦で返納する旨、史料上では午年(明治3年)迄の返納が確認できる	小横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 336-76	[覚]				数量書上、「口数」とあり			
桧垣文庫 (近世筑前国) 337-78-6	借用証文之事	弘化4年未1月	下作人裏町与助、借主寺主坊(印)、受人御供屋(印)	連歌屋町 雄次郎殿	金子5両の借用証文	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 340-69	分限帳(写)	文化13年2月写				横帳	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 350-29	宰府天満宮社数軒付帳	寛政3年辛亥12月 □□□			太宰府天満宮内の建造物の寸法を書き記したもの折り込みあり	縦帳	1	虫損あり
桧垣文庫 (近世筑前国) 355-26	猶々左ニ申進候趣被仰聞被下候者可承奉拜	6月22日	貝原久兵衛(花押)	大鳥居信兼様	大鳥居・小鳥居・浦之坊由緒他	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近世筑前国) 355-29	書状	6月20日	団玄斎	大鳥居信助公様	雨請の事について	一紙 (折紙)	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 355-30	[記]	天保3年壬辰	黄鐘上浣定賀写 (印)		延宝三乙卯年九月七壬辰日 遍照金剛二品道晃親王書	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 383-1	太宰府天満宮日参講帖	慶応3年卯2月	十境坊		日参講の目的、定、初穂納入の覚など	一紙	1	
桧垣文庫 (近世筑前国) 383-5	下問雑載 全	(文政11年) 戊子 11月	安倍龍		本草に関する事物についての 設問と解答、嘉永六年に 写したもの	書冊	1	
桧垣文庫 (近世柳川藩) 178-26	書状	9月16日	森六蔵	延寿王院	筑後水田円満宮祭礼の件	一紙	1	
桧垣文庫 (近世佐賀藩) 331-25	扣 先年七ヶ条之御手(頭か) 此□ニも存分之儀御座候ハ、無 用捨可申上由誓紙被仰付差上召 置候間任其旨御機嫌をもはから ず申上候	寛永11年10月19日	多久長門守		御家中之御奉公ニ付	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 48-5	御布告控(写)	明治6年7月	副戸長 鍋山長七	西入部・四箇・ 重留村保長衆	布告の写	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 48-12	乍恐差出ヲ以申上候口上之覚	明治6年8月	池田弥八他2名		暴動の際、放火事件に対す る身の潔白	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 54-22	[覚]	(明治6年) 7月21 日	仮調べ所	鍋山長七、末松 甚三	暴動被害の種類の調査報告 通知書、筑前竹槍一揆関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 66-20	先般一揆暴動ニ付打破繕普請書 上	明治6年10月14日			竹槍一揆関係	竖帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 66-21	暴動ニ付御布告急写	明治6年7月21日			竹槍一揆関係	竖帳	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 66-22	先般一揆暴動ニ打破家財損物書上	明治6年9月	鍋山長七	福岡県令 兼善	竹槍一揆	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 108-20	筑前要領 上巻 遠賀郡、鞍手郡、嘉穂郡 (写)	明治25年	菊池長秋写		古事記の類、冒頭に「本書ハ福岡谷六軒屋国崎勝海先生蔵書寫」とあり	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 126-28-1	第七期下半期自四十一年七月至同年十二月営業報告書	明治42年1月18日	太宰府軌道株式会社		営業の景況・支出入・貸借対照表・四十一年下半期運転台数・乗客数月別統計表・株主人名等	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 126-28-2	第八期上半期自四十一年一月至同年六月営業報告書	明治41年7月	太宰府軌道株式会社		営業の景況・支出入・貸借対照表・四十一年上半期運転台数・乗客数月別統計表等	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 137-11	福岡藩尊攘史之見本 第六編上	(明治期カ)			「従二位黒田長溥公傳」の原稿の写し	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 147-41	御林山反別入札并棒杭建方雛形	明治6年癸酉3月14日	戸長 安河内亦六		村継触入札雛形など、ほか「御布告20歳書上雛形写」あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 155-48	雑記録 第一学年	明治27年2月	伊堅守恵		歴史筆記(郷土史談)、地誌筆記(郷土地理)、修身筆記について	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 165-16	[幕末維新时期人物略歴]	(昭和初期カ)			平野次郎(国臣)、真木保臣(和泉)ら幕末維新时期の人物の略歴について	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 169-23	若宮郷地理小誌 全	(明治期)	斉藤武和著、村田廣吉校		若宮郷の位置、また各村の地理について	書冊	3	
桧垣文庫 (近代福岡県) 173-27	黒田長政公事蹟略記 外二項	大正10年5月			黒田長政の事蹟ほか「光雲神社沿革略記」、「黒田家の筑前に對せらるゝ厚意」の2項目	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 175-15-2	[小野家古文書借用依頼状]	昭和7年4月8日	東京帝国大学文学部史料編纂所長 史料編纂官 文学博士辻善之助 (公印)	小野隆樹殿	大日本史料編纂の参考とするので、貴家所蔵の古文書を貸して下さいますようにとのこと、ほか返信用切手、請求書と古文書あり	罫紙	2	
桧垣文庫 (近代福岡県) 178-1	郷土史	大正13年			福岡城志・福岡市志、元寇ノ乱、黒田如水伝附山笠、平野国臣、貝原益軒、後藤又兵衛基次、野村望東尼伝、栗山大膳、七隈椎ノ木塚馬場頭に於ける菊池寂阿の二墓、水城・都府楼、香椎宮・宇美神社附帆柱石、	書冊	1	ガリ刷り
桧垣文庫 (近代福岡県) 182-6	前原高等小学校郷土地誌	(明治20年代)	(前原高等小学校)		前原周辺の地誌について	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-1	[書簡]	(明治期) 3月23日	広島市大手町 小野隆助	福岡土手町 小野隆太郎殿	先月五十嵐氏に会い130円の金策をとりつけた、内100円はそちらへ差し出すよう頼んで置いたので、延滞している廣辻氏の方へ返済するようにとのこと、0円金策依頼の件、「広辻信次郎氏御用ノ漸々延滞ニ付御持参御返済相成度候」	一紙二枚継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-2	書簡 [封筒有]	明治22年12月11日	東京芝罘手町 小野隆助	太宰府町 小野幾久殿	昨10日当地を出発するつもりだったが、12日に黒田公とお会いするので、それまで滞京し、13日午前には出発すること	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-3	書簡 [封筒有]	(明治期) 11月13日	藤野等甫	小野様	遠州の書簡の鑑定について、遠州書簡拝見、「祐筆之手ニ而書判ハ直筆歟と推考仕候」以下鑑定結果を説明し、「秘蔵可相成奉存	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-4	書簡	(明治期) 7月31日	田村重次	小野様	延期が続いていた東公園の招魂社々務所は、本月中旬頃から着工に入るので、職工賃及び諸経費をお支払下さいますようにとのこと	一紙五枚継	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-5	書簡	明治42年8月10日	大連市近江町 矢野尋太郎	筑紫郡太宰府 小野隆助様	188-48-5~6は同一封筒内、しかし、封筒は本来48-6のものと思われる、脳患に罹り病床中に付「官途ノ動静」等御報知方依頼、令息隆太郎君の御卒去をお悔やみしますとの旨、	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-6	書簡	(明治)42年(消印より)8月10日	大連市近江町口 区四号七番戸 〔封筒より〕矢野尋六郎	福岡県筑紫郡太宰府小野隆助様 貴下	御令息隆太郎君台湾御拝職中病氣にて帰国後卒去の報道に接し驚愕として御悔みを述べる	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-7	〔書簡〕	(明治期)10月4日	長野解三	小野隆助様	真鍋・石田・生田・白石各氏の近況報告について、小生観音寺警察署長に転勤、前任真口氏について、「最早本県ヲ去ラサレハ到底名誉恢復ハ難キ」と述べる、過日来県会議員選挙無事集	一紙 三枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-8	〔書簡〕	明治13年3月19日	石川根三郎	大鳥居次郎様	山田への質券、源助・菊太郎へ譲られた地券は、平井の帰郷の内に同人へ託すようにとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-9	〔書簡〕	(明治期)3月11日	勉次	次郎様	送別会を手配しておいたので、午後1時に必ず参られるようにとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-10	〔書簡〕	(明治31年)10月14日	修太郎	小野知事閣下	蚕業に関する愚見御一覧の依頼、蚕業に関する意見書を御一覧下されば光栄ですとのこと	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-11	〔書簡〕	(明治期)	杉村	小野大兄	10日間ばかり阪本役場へ出張して、小松のあとを受けて監督をしていたが、今の計算では弁金が120~130円ほどになるとのこと、「同人ハ至ッテ精密ニシテ正直ナル引為アル人ナリシニ如此事ノ起ルトハ死後ノ汚名	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-12	〔書簡〕	明治31年8月5日	大隈町 土屋亀吉	小野隆助殿	この度香川縣知事になられ家族共々喜んでおり、直ちにお伺いしたいのですが、私は他行中ですので無礼をお許し下さいとのこと	罫紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-13	[書簡]	(明治期) 6月26日	貞一郎	小野隆助殿	高松警察所内に娼妓を入れて餅投げをした件で休職となった某の処遇について宜しく願いますようにとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-14	[書簡]	(明治期)	□□	天正雅泊まいる	書面の趣は承知しましたが、小生は二日酔いにて臥しておりますので、今日はお免させていただきますとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-15	[書簡]	(明治期)	久十郎	御姉様もとへ	煙草入れは出来たが不都合がある、宜しく御了承下しますようにとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-48-16	[書簡]	(明治期) 7月7日	筑前太宰府 小野隆助	東京本郷森川町 小野隆太郎殿	御学科及第、試験景況詳細承知、授業料及び諸経費について申して来るようにとのこと	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-50	[書簡]	(明治期) 4月29日	総長	頭中将殿	太宰府安楽時天満宮社人小野氏賢は、この度加賀守従六位下となった、氏賢が社職相続の勅許を得られるように御沙汰をお願いします	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-71	[書簡]	(明治期) 6月17日	武夫	小野様	詳細は不分明だが、井上案は見合、寧ろ是迄通り之方針にて進められたく云々、愚考にては生等が使いとなるよりも進藤・安部・清原三氏連名、判決は進藤氏にて彼の一条は成功する様御尽力されたし、最早杉山〔茂丸〕氏来福の頃か、福岡市西武人町玄洋舎内進藤	一紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-73	[書簡]	(明治期) 9月29日	氏就	隆助殿	今月7日発の書状への返答書を差し出さなければならぬところ、最近多忙だったので遅れてしまった、殉難の士の招魂祭への寄附の件は縣官同志中で詮議していますとのこと、他6件、地方悪病流行と尚々書にあり、上書に「角力番付勝負付」	罫紙 四枚 継	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-74	[書簡]	(明治期) 7月23日	馬場氏就	三木(小野)隆助殿	士族河会新八郎(今は三浦砂と称している)が、この度長溥公の御機嫌伺いのため上京するのだが、舎弟某が遊蕩し金を使い込んで旅費が乏しいため、金子取り替えを頼んできた、私は20円替えて預り証券を受け取っておいたのだが、音沙汰がなく、在京中なのか帰郷しているのかも分からず	罫紙 三枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-75	[書簡]	(明治期) 12月6日	松岡市右衛門		平原君の出馬の件が穏やかに済んだ事を知らせて下さり、私どもも安心しておりますとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-76	[書簡]	(明治) 27年3月6日	御笠高等小学校々長 山手知美	小野隆助殿	来る9日は両陛下御結婚満20年の御祝儀が行われる、私も奉祝として拝賀式を挙行するので、今日午前10時に御参列下さいますようにとのこと、「御笠高等小学校」の用紙に記入	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-77	[書簡]	(明治期) 7月27日	京都聖護印村馬場氏就	宰府二而 小野隆助殿	茶介からは東上後多少書状がきていたし、土方からも追々周旋があったとの旨	罫紙 二枚 継	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 188-78	[書簡]	(明治) 34年4月6日	田川郡弓削田村井上玄道	太宰府 小野御体人閣下	菅公一千年祭決定の知らせはありがたく承知しましたとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 192-6	郷土地理歴史	(明治期)	(西新高等学校)		西新高等学校の周辺、及び福岡西部の地理や歴史について、表紙に「西新高等学校第一年□ 松田次三郎」とあり	書冊	2	
桧垣文庫 (近代福岡県) 192-7	筑前地理小誌	明治15年5月刻成	海妻甘蔵編輯、長野誠・吉田利行校閲、連壁書樓		筑前国15郡の地理について、「高原謙次郎」の印あり	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 192-12	縣の教育	大正4年4月28日発行	福岡縣		小学教育、中学教育など教育に関する趣旨の書上、ほか学校配置図あり	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 198-20	[覚]	明治42年2月18日 発行	櫻井信四郎編纂 兼発行		近世初期の神屋宗湛関係の 記録			
桧垣文庫 (近代福岡県) 198-21	[満州開拓要覧]	(昭和期カ)	満州拓殖公社		満州開拓民の一覧表			
桧垣文庫 (近代福岡県) 201-8	御笠那珂席田郡役所事務分化分掌	(明治期)			庶務科・収税科の分掌について	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 203-24-3	[辞令]	明治6年7月8日	教部大丞五位 三嶋通庸	太宰府神社権宮 司兼権中講義 尾崎臻	尾崎臻を権大講義に補任する旨	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 203-24-9	[辞令]	明治5年壬申5月3日	教部大丞正五位 門脇重綾	福岡縣大属 尾崎臻	尾崎臻を筑前国御笠郡太宰府社権宮司に任ずる旨	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 203-27	五卿始末記抄録	(明治期カ)			文久3年4月の攘夷決定から五卿西渡決定、太宰府までの行程を詳述	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 206-5	郷土小倉	昭和16年4月	小倉郷土観察資料調査委員		小倉周辺の地理・歴史などについて	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 212-3	黒田家封建制度略記(写)	明治34年7月18日 書おへぬ	香月酔石秘蔵		福岡藩の職制、年貢納入の規定ほか諸手続などについて	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 213-61	御記録目録(抜粋)	明治45年3月調	黒田家福岡別邸		黒田家所蔵史料の目録、「九州帝國大学文学部」の罫紙を使用	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 216-38	[商標]	(昭和初期カ)	博多宝来屋ほか		「梅ヶ枝餅」などの商標	一紙	3	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1	第十四大区五小区諸願書控帳	明治6年癸4月	副戸長 鍋山長七		明治5～6年の諸願書、竹槍一揆関係の書類多数	書冊	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-1	四箇村西入部村下村居家毀焼御届書上控	明治6年癸酉7月21日	副戸長 鍋山長七他	福岡県御庁		書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-2	四箇村旧穢多焼亡極貧之者共御救米御渡	明治6年癸酉8月	副戸長 鍋山長七他	福岡県令 立木兼善		書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-3	暴動ニ付放火烧亡西入部旧穢多極貧御救助米代御渡書上	明治6年7月	副戸長 鍋山長七他	福岡県令 立木兼善	竹槍一揆関係	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-4	第十四大区五ノ小区早良郡西入部村旧穢多凶燹ニ罹り目下飢餓之者ニ急場御救助米御渡ニ付名面書指出申上候事	明治6年8月7日	副戸長 鍋山長七他	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-5	居家毀焼届	明治6年7月	副戸長 鍋山長七他	福岡県御庁		書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-6	西入部村旧穢多家作金拝借願書	明治6年8月15日	副戸長 鍋山長七他	福岡県令 立木兼善		書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-7	第十四大区五ノ小区三ヶ村早魁代作書上控帳	明治6年8月15日	副戸長 鍋山長七他	福岡県令 立木兼善		書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-8	早良郡待罪書	明治6年8月14日	第14大区5ノ小区西入部村			書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-9-1	犯罪書	明治6年8月14日	四ヶ村副戸長 鍋山長七他2名	福岡県令 立木兼善		綴	2	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-9-2	犯罪書	明治6年7月	5ノ小区副戸長 鍋山長七他 3名	福岡県御庁		綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-10	西入部村四ヶ村西村旧穢多焼亡ニ付家作拝借金願控帳	明治6年閏6月23日 (新8月17日)			焼亡ニ付家作金拝借願(四ヶ村)、筑前国早良郡四ヶ村焼失ニ付家作金拝借証書、焼亡ニ付家作金拝借願(西入部村)、筑前国早良郡西入部村焼亡ニ付家作金拝借証書、年賦返納御貸下金請取証書(西入部村)	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-11-1	焼亡ニ付家作金拝借願	明治6年8月17	樋口作八他	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-11-2	筑前国早良郡四ヶ村焼失ニ付家作金拝借証書		四ヶ村拝惣代 尾崎儀平			綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-11-3	焼亡ニ付家作金拝借願	明治6年8月17日	樋口作八他1名	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-11-4	筑前国早良郡西入部村焼亡ニ付家作金拝借証書(写)	(明治6年カ)	第14大区戸長 石橋伊三郎他3名			綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-12	年賦返納御貸下金請取証書	明治6年8月25日	保長 榊喜太夫他1名			綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-13	[届書]	明治6年8月	副戸長 鍋山長七		一揆始末の件につき出勤するようにとの事だが持病の為出勤できず	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-14	大十四大区五ノ小区早良郡重留村指出ヲ以御願申上候口上之覚	明治6年8月	大十四大区五ノ小区副戸長 鍋山長七	副戸 木山喜八		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-15	大十四大区五ノ小区副戸長 鍋山長七乍恐差出ヲ以申上事	(明治6年) 8月19日	副戸長 鍋山長七		聴治課御中	綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-16	大十四大区五ノ小区早良郡四箇村旧穢多凶燹ニ罹り目下飢餓之者エ急場御救助米御渡ニ付名面書指出申上ル候事(ママ)					綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-17	年賦返納御貸下金請取証書	明治6年8月26日	副戸長 鍋山長七		四ヶ村分、重留村保長増願合綴	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-18	記	明治6年8月13日	菰田与平		縁組送籍の件	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-19	大十四大区五ノ小区副戸長 鍋山長七乍恐御願申上事	明治6年8月28日	副戸長 鍋山長七		副戸長退役の願書	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-20	材木願	明治6年9月	第14大区戸長 石井広郷他	福岡県令 立木兼善	竹槍一揆により焼亡のため官林材木払い下げの願書	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-21	私義差支ニ付借用証拠之事	明治6年7月	5ノ小4ヶ村 林与八	樋口弥十郎		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-22	御普請拝願上候事	明治6年9月3日	第14大区戸長 石井広郷	福岡県令 立木兼善	他同様の願書一括あり	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-23	退職願	明治6年9月10日	5ノ小区副戸長 鍋山長七	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-24	五ノ小区西入部村入百姓中暴動焼失ニ付拝借金願出五ヶ年割賦割合上納左之通御貸渡被仰付分	(明治6年カ)				綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-25	記	明治6年9月22日	5ノ小区副戸長 鍋山長七	第14大区御調所		綴	2	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-26	職獵免許願	明治6年9月24日	第14大区5ノ小区 重村 林遠里	福岡県令 立木兼善		綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-26-1	退職願	明治6年9月27日	第14大区5ノ小区ノ内四ヶ村保長 新原平四郎	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-27	記	明治6年9月28日	(第14大区5ノ小区戸長力)	福岡県庁中	副戸長病気につき保長代理出席の件	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-28	記	(明治6年) 9月30日	5ノ小区戸長 榑喜太夫	第14大区調所中	暴動により地券帳焼失につき筆写のため地券帳借覧したいとの旨を記す	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-28-1	贖罪日延願	明治6年9月	第14区5ノ小区各村保長	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-29	党民隋行贖金日延願	明治6年9月27日	第14大区5ノ小区保長 副戸長	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-30	党民隋行贖金上納記	明治6年9月27日	第14大区5ノ小区副戸長 鍋山長七	福岡県令 立木兼善	残金10月15日迄式延願候也	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-31	党民隋行贖金上納記	明治6年9月24日	第14大区5ノ小区副戸長 安河内亦六	福岡県令 立木兼善		綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-32	記	明治6年10月2日	第14大区5ノ小区ノ内西入部村保長 樋口作八他3名	第14大区御調所	処分未済者に関する答え	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-33	記	明治6年10月3日	鍋山長七	第14大区区長 木山喜八	出張の件	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 220-1-34	急布達	(明治6年) 9月20日	(14区仮調所) 鍋山長七他3名		事務移転の件	綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 223-41	[地方税其外納通綴]	明治14年10月・12月、15年7月・10月・11月、16年6月、17年8月	戸長役場〔明治十四年十・十二月のみ村役場〕	水城村竹森重五郎	地方税地価割・学費地掛等の納入通知「地方税其外納通」を綴じたもの、うち「明治十五年地租金上納通」(明治15年7月1日)・「明治十四年度御笠郡土木費其外納通」(明治14年10月)・「臨時土木費其外納通」(明治15年10月)あり	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 224-8	[書簡]	(明治期カ) 12月24日	山田積之	小野隆助殿	先日依頼のあった銃器の件は既に協議したが、弾薬については隊長不在につき相談できないので、協議が整い次第お知らせしますとの	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 232-19	[黒田氏歴代一覧]	(大正期カ)			黒田重隆～長成までの官位・夫人名・生没年月日などについて	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 232-20	黒田家御紋章	(明治期カ)			黒田家の紋章など	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 236-20	高倉神寶永形視(写)	明治20年12月31日	海妻直縄編輯	伊藤祠掌	旧社古文書類纂、第四大区郷社年中費額概略表、社務所費など	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 236-4	筑紫郡米麦作蚕業十年計画書	大正5年6月	福岡県筑紫郡農会		米・麦・養蚕について、今後の施設計画と現在高・10年後見込高の一覧表	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 239-63	太宰府天満宮〔絵葉書、冊子〕	昭和38年12月25日	太宰府天満宮社務所		ほかに「太宰府天満宮略記」、「菅公歴史館のしおり」などあり、天満宮の封筒にて一括	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 239-63-0	太宰府天満宮				包紙、「太宰府天満宮絵葉書」・「菅原道真公と天満大神」の2点が入っている	袋	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 239-63-1	太宰府天満宮絵葉書				「太宰府天満宮絵葉書」と表に書いてあり、内側に由緒・沿革概要の書いてある包紙の中に絵葉書が4枚入っている、具体的な絵は太宰府天満宮御本殿・神橋・桜門・榎社である	絵葉書、包紙	絵葉書4、包紙1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 239-63-2	菅原道真公と天満大神	昭和38年12月25日発行	太宰府天満宮社務所		菅原道真薨去1060年に際し、天満宮信仰を生かすために発行、埼玉大学教授遠藤泰助が執筆、道真の略歴から鎌倉・室町・江戸時代の天神信仰のあり方についての叙述、序は宮司西高辻	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 250-57	〔書簡〕	(明治期) 7月27日	宰府 愛野忠次郎	博多海老屋 古川平八郎様	前山出は23日朝から佐嘉へ行ったがまだこちら(宰府)に帰ってこないので出博できない、誰かが出博するまで滞在されますように	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 257-66	福岡県鉄道布設調	明治19年7月	福岡県		九州鉄道の規約書、同鉄道の営業成績及び福岡県管内の物資の輸出入状況一覧	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 268-131	〔郡役所日誌〕 (写)	(明治18年~19年)			郡役所日誌の写、「御笠那珂席田郡役所」の罫紙に記入	小冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 277-34	黒田溥整履歴	明治28年6月5日		旧藩事蹟取調掛 眞藤利明江出ス	幕末期の家老、黒田播磨溥整の履歴について、「黒田溥整履歴」「従二位公自書」「君臣之衝突」などに	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 278-111	〔郡史史料調査に関する書類〕	大正2年9月18日	八女郡役所理事 堀善之丞	士方正澄殿	郡史資料調査依頼、及び事蹟の説明について	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 292-52-1	〔依頼状〕	明治19年2月	従五位伯爵 立花寛治	舊柳川藩内各町 村戸長御中	現在修史館で足利~徳川時代の事蹟について調べているので、大友や豊臣・徳川氏らの感状や書簡があったら差し出してほしいとのこ	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 292-52-2	〔依頼状〕	(明治) 19年3月30日	歴木村別 戸長 役場	小野隆 殿	別紙(292-52-1)の通り依頼が来たので、書類など所蔵してあれば差し出して下さいとのこと	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 292-119	[覚]	(明治期)			明治4年4月～明治8年迄の黒田長溥、長知とその周囲の動向について	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 296-47	中村圓太小傳	(昭和期)	筑前近世史研究会会長 山内勝也		中村圓太の半生について	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 297-46	筑紫化蝶會諸國大集 第壹號	明治33年4月26日	江藤正澄		全国で所在が確認されている古銭及び所有者の一覧	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 298-17	[書簡]	(明治期) 9月6日	東京府九段坂上富士見町黒田邸内 三木隆助	福岡県下福岡馬場 黒田一美	姓は戸主の姓にすべきとの規則がある、御両殿様にも別段異議はないようなので、別紙の通り下知するので了承されるようにとのこ	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 298-18	[書簡]	(明治期) 9月19日	西島種美	一美様	御帰縣ならびに御用の件の御報告については承知しましたので、上申などについては加藤氏の連署でもって申し上げたとおりであるとのこと、他2件	野紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 298-34	[書簡]	(昭和期) 11月12日朝	京都市左京区北白川 梅原末治	福岡市九州帝國大学 鏡山猛様	今回はそちらへ行けないので、そちらで調査続行を御願いたしますとのこと、ほか絵葉書、切手あり	郵便葉書	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 302-74	藤雲館創立寄附帳	明治14年4月	藤雲館創立同志 総代三木隆助、小野新路、上野彌太郎		藤雲館設立の趣旨、寄附者名簿、及び藤雲館の予算について	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 309-192	直轄太宰府教会太宰府神社教会飛梅講社規約	明治15年1月	太宰府教会所		「太宰府教会大意」・「三条教憲」・「飛梅講社規約十一条」及び入社に関する注意五ヶ条	書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 313-60	[覚]	(明治期)	船曳口馬他8名		これからも一層奮励し、銘々が日本の大益となるような産業を興して、旧主(黒田長溥・長知)の志を継いで国土に尽くそうではないかとのこと、またその事業資金について	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 322-11	上陳書	明治24年12月	黒田一義舊附属 総代 豊嶋與七 郎他7名	長成侯 令扶御 中	黒田一義の家は炭坑事業の失敗で負債を抱えてしまった、(返済のため)所有の田地や銀行株券を売却したとしても、一家の生計はすぐ困難に陥るだろう、かくなる上は一義所有の株券を閣下に奉呈し、閣下が一家を保護して下さる事を懇願	縦帳	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-1	[原稿]							
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-2	原稿 (作家と死:高見順)		松崎二郎		木下讚太郎関係	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-3	原稿	(昭和期)	柳猛省		木下讚太郎関係、荒津山今昔	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-4	原稿	(昭和期)	作家 高原弘吉		木下讚太郎関係、わがふるさと筑豊炭田	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-5	電報一括	昭和12年3月30日	サカモト他	キノシタサンタ ロウ	木下讚太郎関係、母死去の弔電			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-6	[三杉宅建物平面図]				木下讚太郎関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-7	[建物配置図]				木下讚太郎関係、総坪517坪余、建坪120坪弱	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-8	[字図]				木下讚太郎関係、間口・坪数書上	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-9	[建物平面図・方位図]	(昭和)			木下讚太郎関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-10	岡藤太郎金□□□	明治9年12月15日			木下讚太郎関係	長帳	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-11	[屋敷地に入用の明細書]	明治20年12月15日			木下讚太郎関係	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-12	[公債及び預ケ金ノ控 端紙一括]	明治38年～42年			木下讚太郎関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-13	整□公債証書控	明治20年10月4日	木下七郎		木下讚太郎関係	長帳	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-14	預ケ金ノ控 相殺分	明治27年6月28日	木下まさ		木下讚太郎関係	長帳	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-15	[書簡]	(大正～昭和期)	西原精吉他	木下讚太郎	木下讚太郎関係	一紙	52	1～52まであり
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-16	[封筒]	(昭和期)	大島豊他	木下讚太郎	木下讚太郎関係	封筒	7	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-17	[書簡]	(昭和期戦前)	篠崎幸蔵	木下美記夫	木下讚太郎関係		5	1～7まであり、封筒2点あり
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-18	[書簡]	(昭和) 5月28日	石井廣躬	岡藤太郎	木下讚太郎関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-19	[書簡]	(昭和) 12月9日	原田成太郎	原田年子	木下讚太郎関係	一紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-20	[書簡]	(昭和期)	□□正倫		木下讚太郎関係、郷土史編纂に関する件、後欠	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-21	[書簡]	大正7年2月	福岡市尚武会長、井手佐三郎他3名		木下讚太郎関係、陸戦記念会組織の件	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-22	[書簡]	(昭和戦後)	木下隆二	両親	木下讚太郎関係、近況報告	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-23	[置き手紙]	(昭和期) 10月23日	木下	後藤	木下讚太郎関係	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-24	[書簡封筒のみ3点]	(昭和3年3月16日消印)	長崎控訴院書記課他	木下チカ他	木下讚太郎関係	封筒	3	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-25	家産借受証	明治24年第4月1日	借主人高田豊五郎(印)、証人吉井五三郎(印)	讚井政太郎殿	明治24年4月1日より満1ヶ年間家を借り受ける旨と契約事項について	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-26	家屋借受証	明治25年10月1日	借受人橋詰傳(印)、保証人橋詰瀧次郎	木下チカ殿	備品、契約事項などについて	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-27	地所建物永代賣渡証	明治26年11月17日	賣渡人的野卯八	木下讚太郎殿	土地・建物の売り渡し証文、袖書に「地所代金五5円88銭9分 明治27年5月24日三石久三郎ニ賣渡」とあり、ほか宅地の見取図あり	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-28	永代賣渡証文之事	明治10年8月	賣主村田勝三郎(印)、一族証人村田徳七(印)	木下七郎殿	建家の売渡証文、ほか三好彦太郎の奥書、建物図面あり	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-29	借金証書	明治9年6月16日	借用主毛屋與吉(印)、辨償受人上杉半蔵(印)	木下七郎殿	金9円を借用し、来月より80銭ずつ返済、延期した場合は1ヶ月に50銭の違約金と、抵当として大工道具を納め	罫紙綴	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-30	賣渡証書	明治34年10月26日	岸田七次郎	木下讚太郎殿	土地・建物の永代売り渡し証文、奥書に「(明治)42年9月7日 此屋敷地代金588円ニテ深見平次郎ニ賣」と	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-31	賣渡証	明治19年9月17日	賣主大山卯作、証人高木嘉右衛門	木下七郎殿	倉1軒の売り渡し証文、ほか袖書あり	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-32	[金禄公債証書賣渡証綴]	明治11年～明治16年	賣渡人高木登納他	岡藤太郎殿他	金禄公債証書の賣り渡し証文の綴	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-33	[雑記綴]	明治11年～明治17年	士族木下七郎	福岡縣令渡邊清殿	金禄公債証書に属する利札を納めるので、現貨を下げ渡し下さいますようにとのこと、ほか「金禄公債証書利札納目録雛形」あり	罫紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-34	請求書	大正11年8月31日	中嶋自動車商會	木下様	ハイヤー代金の請求書、ほか受領証あり	一紙綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-36	受取証	大正6年5月7日	中原道雄	木下讚太郎様	金13円の受取証	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-37	有体動産賣渡証	明治26年2月5日	賣渡主□正□(印)、証人有村良	木下チカ殿	箆笥5個他5品目を15円にて売り渡す旨	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-38	領収証	大正12年3月1日	木下讚太郎	福岡日日新聞合資會社御中	金10円の寄贈をありがたくお受けしますとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-39	見積り書	大正8年3月	東湊町 小林平次郎	木下様	竹や縄、土などの見積書	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-40	見積書	(大正期) 7月4日	北島鍼力屋		戸樋、立戸樋等の見積書	罫紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-41	記	(大正期)	北嶋時次郎	木下様	戸樋代金25円の領収証	罫紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-59	[推奨状]	大正14年12月28日	佐世保鎮守府 (印)		木下讚太郎の元寇史の講話は国民精神作興に資するところが大きいので、軍艦が博多湾に入港した際はその講話を聴講することを推奨	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-60	修業證書	大正3年3月25日	福岡縣福岡師範 学校附属小学校	木下タマキ	尋常小学校第一学年の課程を修了した旨	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-61	[綴]	明治30年6月1日	福岡縣知事従三位 勲三等男爵岩村高俊 (印)	木下讚太郎、木下七郎	明治27~28年戦役(日清戦争)の際に軍資金を献納した事は殊勝であるとのこと	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-62	公正證書	大正7年2月26日	公證人 辛木秀夫 役場		表紙のみ	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-63	[答案用紙綴]	(大正期)	第11番 井上藤六 他		答案用紙を綴ったもの、読方の答案カ	一紙	3	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-64	[覚]				木下家の系譜	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-65	大正三年営業名及課税標準届	大正3年11月31日	木下七郎 (印)	福岡税務署長殿	営業名、営業場所、資本金などの届出及び届書の注意事項について	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-66	[通知]	明治26年7月19日	福岡縣尋常師範 学校長 八重野範三郎 (印)	試験生 木下讚太郎	師範学校入学許可の旨	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-67	[通知]	明治31年7月31日	西新高等小学校 長 西垣正順 (印)	准訓導 木下讚太郎 殿	別紙にて辞令を送付する旨	罫紙	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-68	送達状	明治25年7月7日	福岡区裁判所書記 大西尚之	木下チカ殿	(業務) 停止命令について、福岡区裁判所執達吏廣田胖太郎代理青木壽茂の名前あり	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-69	[戸籍謄本綴]	昭和16年9月30日	大分縣上毛郡三郷村長 井上庄九郎 (公印)		梅木閑ほか4人の戸籍謄本の綴			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-70	寶祚無窮祈願會趣意書及定款	昭和3年3月	緒方稜威雄ほか12名		会の設立趣意書、ならびに定款について	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-72	[覚]	(昭和16年頃カ)			(大分縣) 下毛郡三郷村の梅木閑の貸している畠や山林についての書上、ほか図あり			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-73	[覚]	(近代)	(竹田久右衛門)		福岡荒戸町184番地、185番地の坪数と地代、縦・横幅の書上	綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-74	伊崎浦関正美家屋敷計算	明治29年2月5日			家代金のほか貸金と残金の書上	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-75	[覚]	(大正期カ)			貸金の元金と利息、利子受取高などの書上			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-77	[記]	(明治期カ)			「シゲ」なる人物の往来の記録か			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-78	[覚]	(近代)			記名特別5分利500円券ほか3種の金券と番号の書上			
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-79	[雑記]				金額の記載、計算式などあり	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 336-80	カメラ総合カタログ	(近代)	カメラの土居		表紙のみ			

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
桧垣文庫 (近代福岡県) 337-25	筑前国諸社領				寺社領の石高書上、「武谷文庫」の罫紙を使用している			
桧垣文庫 (近代福岡県) 337-28	太宰府名区一覽	明治34年6月15日 発行	岸原金五郎		「高原謙次郎識」絵図附	一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 349-25	[辞令]	明治30年7月16日	福岡県	木下讚太郎		一紙	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 378-20	県令第四十五号 土木箇所及取扱規則	明治25年5月10日	福岡県知事安場保和			一綴	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 353-1	博多と聖一国師	昭和7年3月	木下讚太郎			書冊	1	
桧垣文庫 (近代福岡県) 368-4	[チラシ]	(昭和初期カ)				一紙	1	
桧垣文庫 (近代長崎県) 178-16	[覚]	(明治期)			上稲佐にできた遊女屋の件他	一紙	1	
桧垣文庫 (和装本) カ-59	竈門神社雑記	明治43年	糸山貞幹			縦帳	1	
桧垣文庫 (和装本) カ-69	菅公事蹟	幕末期	亀井昭陽			縦帳	1	「閑散餘録」(カ-73)、「吉田家語」(ヨ-9)と合綴
桧垣文庫 (和装本) ト-24	東妙寺文書	幕末期 写			中世文書の写、子より綴	綴	1	
福岡県地価帳 御笠郡91	地所取調帳	明治8年4月	御笠郡大佐野村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
福岡県地 価帳 御 笠郡149	地所取調帳	明治8年	御笠郡片野村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡182	地所取調帳	明治8年3月	御笠郡観世音寺村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡233	地所取調帳 二冊之内一	(明治)	御笠郡国分村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡247	地所取調帳 第一号	(明治)	御笠郡宰府村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡248	地所取調帳 第二号	(明治)	御笠郡宰府村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡249	(地所取調帳)	(明治)	御笠郡宰府村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡250	地所取調帳 第四号	(明治)	御笠郡宰府村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡251	地所取調帳 第五号	(明治)	御笠郡宰府村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡252	地所取調帳	明治8年3月	御笠郡坂本村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡426	地所取調帳 第一号	明治8年5月	御笠郡通古賀村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡428	地所取調帳 第二号	明治8年5月	御笠郡通古賀村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡601	地所取調帳	明治8年3月	御笠郡水城村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡619	地所取調帳	明治8年4月	御笠郡向佐野村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	
福岡県地 価帳 御 笠郡867	地所取調帳	明治8年	御笠郡吉松村		明治八年の地租改正時に作成された地所取調帳	縦帳	1	画像ではNo.86

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
福岡県地価帳 御笠郡183	御笠郡観世音寺村地価帳	(明治)	御笠郡観世音寺村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡253	御笠郡坂本村地価帳	(明治)	御笠郡坂本村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡294	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村字内山		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡295	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村字内山		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡296	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村字北谷		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡297	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡298	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡299	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡300	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡301	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡302	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡303	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡太宰府村		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡602	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡水城村字大佐野		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡603	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡水城村字大佐野		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
福岡県地価帳 御笠郡604	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡水城村字片野		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡605	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡水城村字向佐野		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡606	総丈量地価帳	(明治)	御笠郡水城村字吉松		明治二十一年の総丈量の際に作成された総丈量地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡245	修正地価帳 三冊之内一	(明治)	御笠郡水城村字国分		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡246	修正地価帳 三冊之内二	(明治)	御笠郡水城村字国分		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡611	修正地価帳 三冊之内三	(明治)	御笠郡水城村字国分		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡612	修正地価帳	(明治)	御笠郡水城村字坂本		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡435	修正地価帳 第一号	(明治)	御笠郡水城村字通古賀		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡613	修正地価帳 第二号	(明治)	御笠郡水城村字通古賀		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡614	修正地価帳 第三号	(明治)	御笠郡水城村字通古賀		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡615	修正地価帳 第一号	(明治)	御笠郡水城村字水城		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡616	修正地価帳 第二号	明治22年	御笠郡水城村字水城		明治二十二年の地価修正の際に作成された修正地価帳	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡379	地価修正一筆限表 第二号	明治32年	御笠郡筑紫村字太宰府、北谷、内山		明治三十二年に作成された地価修正一筆限表	縦帳	1	
福岡県地価帳 御笠郡618-1	地価修正一筆限表 二冊之内一	明治32年	御笠郡水城村字吉松・向佐野・大江野・通古賀・片野		明治三十二年に作成された地価修正一筆限表	縦帳	1	

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
福岡県地 価帳 御 笠郡618- 2	地価修正一筆限表 二冊之内二	明治32年	御笠郡水城村字 水城、国分、観 世音寺		明治三十二年に作成された 地価修正一筆限表	縦帳	1	
九州文化 史所蔵写 本類A-1	後藤家戦功其外覚書	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		天明7年（内容天正4年より 元禄12年）、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-2 ~5	後藤家其外事跡并諸書物覚	昭和10年~11年	九州大学九州文 化史研究所		成立年代未詳（内容建保6年 より元禄12年）188通、謄写	縦帳	4	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-6	後藤家書類 下	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		成立年代未詳（内容天正2年 より慶安元年）70通、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-7	後藤家古文書 上	昭和11年	九州大学九州文 化史研究所		仁安2年より正長元年17通、 臨写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-8	蒲池久敬文書	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		戦国末期より江戸初期30 通、影写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-9	秋月家并旧臣神代大坪両家文書	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		秋月家文書：天正より文禄 年間秀吉朱印状・家康朱印 状10通、影写、神代文書： 戦国末期18通、影写、大坪 文書：戦国末期5通、影写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A- 10・11	泰長院古文書写 乾・坤	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		乾：戦国末より近世初期36 通、影写、坤：近世初期18 通、影写、他に文禄役に於 ける朝鮮側との往復文書等 40数通を収録	縦帳	2	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-12	久保田家御朱印其外	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		戦国末期より江戸初期、秀 吉朱印状20数通、江戸幕府 老中書状10数通、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-13	久保田起請文写	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		天正3年より天正14年、肥筑 の諸氏より龍造寺氏へ提出 した起請文60通余、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-14	久保田古文書	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		嘉暦2年より戦国末期75通、 影写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化 史所蔵写 本類A-15	横岳家所伝文書	昭和10年	九州大学九州文 化史研究所		戦国中末期、肥筑諸氏の書 状30通余、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類A-16	横武・渋江・松隈系図	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		天和元年、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-17	草野家古文書并旧記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		草野家古文書并旧記：文永11年下知状等8通、草野家旧記は安永8年と有り、麻那古村大興寺渋江芳称所蔵文書：戦国中末期書状18通、	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-18	多久家所蔵文書	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		戦国末期より江戸初期、隆信・政家・直茂・多久茂辰等百数十通余、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-19	深江家譜并御判物写	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		江戸中期、判物写3通を収録、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-20	神奈川県有浦縄文書	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		建武元年より江戸初期、66通、影写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-21・22	小鹿島古文書 上・下	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		寛喜3年より江戸初期、76通、影写	縦帳	2	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-23	正慶乱離志	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		年代未詳、影写、他に嘉暦4年7月3日良覚文書目録を収録	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-24	光浄寺古文書	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		南北朝時代より江戸初期、110通余、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-25	鶴田証文控	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		戦国末期、書状・起請文等110数通、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島家内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-26	御先祖様御旧判之写	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		徳治3年より寛永4年、宗氏判物・加冠状等65通	縦帳	1	対馬斎藤家蔵書
九州文化史所蔵写本類A-27	五条文書木屋文書	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		鎌倉時代より戦国時代、五条文書：101通、影写、木屋文書：10通、影写	縦帳	1	福岡県八女郡大淵村五条氏、同郡木屋村木屋氏蔵書
九州文化史所蔵写本類A-28	川上古文書	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		鎌倉時代より江戸初期、40数通、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-29・30	河上宮古文書	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		平安末期より江戸初期、240数通、謄写	縦帳	2	佐賀鍋島内庫所蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類A-31	大村洪江氏書付	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		幕末期、謄写	縦帳	1	佐賀鍋島内庫所蔵書
九州文化史所蔵写本類A-32	清原姓弘石氏系図	昭和11年	九州大学九州文化史研究所		謄写	縦帳	1	大分県東国東郡富来町小松政雄氏蔵
九州文化史所蔵写本類A-33～36	稲葉家御先祖御書出御書之写	昭和13年	九州大学九州文化史研究所		戦国末期より江戸初期、250余通、謄写	縦帳	4	大分県臼杵稲葉家蔵書
九州文化史所蔵写本類A-37～40	河野家代々状之写	昭和13年	九州大学九州文化史研究所		建武年間より江戸初期、影写、他に靈超（梅仙軒）量忠・藤永・昭光等書状100余通	縦帳	4	大分県臼杵稲葉家蔵書
九州文化史所蔵写本類A-41	糸島郡加布里思〔恩〕誓寺文書	昭和13年	九州大学九州文化史研究所		天文7年より天正19年、6通影写	縦帳	1	福岡県糸島郡前原町思〔恩〕誓寺蔵書
九州文化史所蔵写本類A-52～54	朝臣系図	昭和15年	九州大学九州文化史研究所		羽倉敬尚著	縦帳	3	
九州文化史所蔵写本類A-55	芸州巖島大鳥居棟札之写建立旧記		九州大学九州文化史研究所		天文より永禄年間、謄写	縦帳	1	原蔵者不詳
九州文化史所蔵写本類A-56～62	八幡宇佐宮御託宣集	昭和6年	九州大学九州文化史研究所		正徳3年2月、謄写	縦帳	7	原蔵者不詳
九州文化史所蔵写本類A-63～66	筑前国怡土郡千如寺大泉坊書類		九州大学九州文化史研究所		鎌倉より江戸中期	縦帳	4	筑前国怡土郡大泉坊蔵書
九州文化史所蔵写本類A-67	宇佐宮略記		九州大学九州文化史研究所		文化12年6月、謄写、青柳種麿著	縦帳	1	
九州文化史所蔵写本類A-68	豊後国風土記解	昭和19年	九州大学九州文化史研究所		江戸末期、謄写、肥後国小鏡を収む	縦帳	1	宗像宮蔵書
九州文化史所蔵写本類A-72	吉田社所蔵古文書	昭和	九州大学九州文化史研究所		元徳2年より永禄11年、21通、謄写	縦帳	1	豊前国企救郡曾根村吉田吉田社蔵

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類A-73	稲荷社目代羽倉家文書		九州大学九州文化史研究所		永正5年より天文5年、15通、謄写版カ、冒頭に昭和9年8月の羽倉敬尚氏による序文あり、末尾に追補として稲荷神主家大西西家所蔵文書2通謄写あり	縦帳	1	稲荷神社旧目代家羽倉氏蔵
九州文化史所蔵写本類A-74	[波佐間氏蔵文書]		九州大学九州文化史研究所		天正15年正月日付豊臣秀吉朱印状、天正18年正月2日付高札、謄写	縦帳	1	福岡市今津町大原飲山波佐間麓氏蔵
九州文化史所蔵写本類B-1-3	江戸御往来海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		正保元年より寛文元年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-4~6	御参勤御下国海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		寛文2~7年、謄写	縦帳	3	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-7	御参勤海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		寛文8年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-9・10	綱政公御部屋御参府海陸御在府日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		延宝5年、謄写	縦帳	2	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-11	綱政公御部屋御参勤海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		天和元年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-12	江戸御往来海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		元禄9・10年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-13	光之公御隠宅御下国海陸日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		元禄11年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-14~18	江戸御往来海陸日記 一~五	昭和9年~10年	九州大学九州文化史研究所		宝永3~8年、謄写	縦帳	5	黒田家別邸蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類B-1-19	御下国海陸日記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		正徳2年、謄写	豎帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-20	御参勤海陸日記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		享保10年、謄写	豎帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-21・22	江戸御往来海陸日記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		享保12・13年、謄写	豎帳	2	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-23～27	御参勤御往来御用記 一～五	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		1：文政6年より同13年、2：天保2年より同13年、3：天保12年より弘化4年、4：弘化4年より嘉永6年、5：文政5年より安政4年、謄写	豎帳	5	黒田家別邸蔵書、許斐家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-28～31	唐船漂流記 一～四	昭和9年～10年	九州大学九州文化史研究所		享保2年正月より同5年12月、謄写	豎帳	4	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-32	大阪長崎御勤日記	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		宝永8年、謄写	豎帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-33	筑前国中郷帳	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		元禄10年、謄写	豎帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-34	筑前国郡村付石高帳	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		1：寛文4年5月21日、2：寛文4年5月、3：元禄13年3月、謄写	豎帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-35	証文預り書類	昭和9年	九州大学九州文化史研究所		宝永5年より享保9年	豎帳	1	福岡市船町許斐家所蔵
九州文化史所蔵写本類B-1-36～41	延寿王院日記 一～六	昭和10年、12年	九州大学九州文化史研究所		慶応元年より同3年、謄写	豎帳	6	西高辻男爵家蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類B-1-42・43	延寿王院御用日記	昭和10年、12年	九州大学九州文化史研究所		慶応3年、謄写	縦帳	2	西高辻男爵家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-44・45	朝鮮船御領内漂流記 乾・坤	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		元禄より元文年間、謄写	縦帳	2	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-46	異国船漂着記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		正徳4年・享保3年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-47	御国民呂宋国支配内漂流記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		昭和4年より文化9年9月、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-48	異国船漂着記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		寛永より貞享年間、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-49	麻生系譜	昭和14年	九州大学九州文化史研究所		明治初年、謄写	縦帳	1	麻生家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-50	西本願寺御出府を初此方様御入記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		未詳、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-51	京都西本願寺方使僧被差下御国一派之触頭中江法儀を背候儀有之に付御詮議有之相濟候一卷	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		宝暦9年3月27日、謄写	縦帳	1	黒田家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-52	唐船打払記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		享保5年、謄写	縦帳	1	黒田家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-53	異国船漂着記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		元禄14年・宝永元年、謄写	縦帳	1	黒田家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-54	薩摩領江異船漂着記	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		薩摩領江異船漂着記：寛永元年8月、正保中黒船長崎来着覚書：正保4年6月、姪浜船朝鮮漂着記：寛保2年6月	縦帳	1	黒田家別邸蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類B-1-55・56	御参勤御下国海陸日記抜書	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		寛文9年より天和元年、謄写	縦帳	2	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-57	江戸御往来海陸日記抜書	昭和10年	九州大学九州文化史研究所		享保8・9・16・17年、謄写	縦帳	1	黒田家別邸蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-58	篤信編輯著述書目、玩古目録、学功	昭和12年	九州大学九州文化史研究所		寛文元年より宝永6年、謄写	縦帳	1	福岡県筑紫郡大野村竹田家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-59	鶏卵生蠟仕組方御笠郡夫錢元銀調達并日田融通講へ仕戻一件	昭和12年	九州大学九州文化史研究所		天保11年、謄写	縦帳	1	福岡有吉氏蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-60	岡湊記	昭和14年	九州大学九州文化史研究所		元禄6年、謄写、貝原篤信著	縦帳	1	
九州文化史所蔵写本類B-1-61	筑前国博多櫛田社縁起	昭和14年	九州大学九州文化史研究所		未詳、謄写	縦帳	1	未詳
九州文化史所蔵写本類B-1-62	勤王慨弁	昭和14年	九州大学九州文化史研究所		勤王慨弁：慶応元年6月、奸曲始末：慶応元年6月、謄写	縦帳	1	未詳
九州文化史所蔵写本類B-1-63	重富家感牒記備考	昭和15年	九州大学九州文化史研究所		暦応3年より天文4年、謄写	縦帳	1	筑前前原町由比泰助氏蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-64~90	博多津要録	昭和5年	九州大学九州文化史研究所		寛文6年より宝暦9年、謄写	縦帳	27	櫛田神社蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-92	防人日記	昭和22年	九州大学九州文化史研究所		嘉永4年、謄写	縦帳	1	
九州文化史所蔵写本類B-1-93	蛮人白状解	昭和19年	九州大学九州文化史研究所		寛永20年、謄写	縦帳	1	宗像宮蔵書

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
九州文化史所蔵写本類B-1-106	博多油座文書	昭和22年	九州大学九州文化史研究所		嘉禄2年より元亀2年、謄写	縦帳	1	筑前箱崎宮蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-109	嶋井文書		九州大学九州文化史研究所		慶長7年より寛永19年、昭和17年、謄写	縦帳	1	嶋井家蔵書
九州文化史所蔵写本類B-1-110	博多嶋井家文書		九州大学九州文化史研究所		永禄8年より天正20年、謄写	縦帳	1	